

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。  
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0/A ¥ 1 8 9 0/B ¥ 2 0 9 0/C ¥ 2 2 5 0/D ¥ 2 4 9 0}  
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

[www.tambourine-japan.com](http://www.tambourine-japan.com) email: [song@tambourine-japan.com](mailto:song@tambourine-japan.com)

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

### [CD/SCANDINAVIA]

- \*NORDIC FIDDLERS BLOC: Deliverance C  
(ノルウェーの Olav Luksengård Mjelva、スウェーデンの Anders Hall そしてシエトランドの Kevin Henderson の各地を代表するフィドル名人三名による Nordic Fiddlers Bloc の二枚目。  
前作同様、三人それぞれが自国のフィドル・ミュージックの特徴を見事に奏で上げていて、一人が自分のレパートリーを演奏する時には、他の二名は脇役。こだわりの曲をそれぞれの伝統音楽の、特に郷愁をそそるような独特な味わいがよく発揮されていて、唸ってしまう。競演というのが功を奏してるとしか思えない+αの見事さだ。2016 作。Nordic Fiddlers Bloc)
- \*ODE: Och Hela Varlden Den Log C  
(Ode はスウェーデンのトラッド系生え抜きのミュージシャンのトリオ。その三名はニッケルハルバ 奏者として内外で数々の賞を受賞し、チャレンジ精神旺盛なミュージシャン、シンガー、ダンサーの Emilia Amper {ニッケルハルバ、ヴォーカル、パーカッション} と Ale Moller Band や Sofia Karlsson のバック・ミュージシャン等で活動する Olle Linder {ギター、パーカッション、ヴォーカル}、そしてマルチ楽器演奏家の Dan Svensson {各種パーカッション、ギター、口琴、ロー・ホイッスル、フルト、ヴォーカル}。スーパー・トリオが創作する音楽は、スウェーデンの伝統音楽にアラブ音楽、中世音楽、ジプシー音楽+αを混ぜた異種交配音楽。2013 作。Gammalthea)
- \*BLINK: Blink B  
(Blink はフィンランド、スウェーデン、エストニア、デンマーク、ノルウェー出身の女性 4 人組。4 名のヴォーカルと各人がニッケルハルバ、カンテレ、フィドル、オートハープ等を演奏。基本的に北歐的に素朴な伴奏による素朴で美しくまた力強くもあるシンギング & ハーモニーが素晴らしい。Produced by Maria Kalaniemi。2011 作。NORCD)

### [CD/LAPLAND]

- \*WIMME & RINNE: Human B  
(ヨイク歌手の Wimme Saari とクラリネット奏者の Tapani Rinne のコラボ・アルバム。二曲でノドをふるわず Elie Sofe Henriksen のまるで奄美か沖縄の唄者のような古老風ヨイクで幕開けする本作は、実質的にはヨイク最前線そして結果的にワールド・ミュージック最前線の音楽に挑んできた Wimme Saari のソロ的内容で、その延長線上のヨイク。ユニークなのは、クレジットされている楽器以外のリズム音や擬音などの不思議な効果音が施されていて、太鼓のヨイクの世界へと誘う感覚に襲われる。彼にしか創作できないラディカルなヨイクの世界だ。唯我独尊。2017 作。RockAdillo)

\*INGA RAVNA EIRA/BIRET R. SARA/R. A. GUTTORM:Gilsí/Skilfu B  
(副題“Electric Jazz Yoik Poetry”。二人の女性ヨイクのシンガーと一人の女性の語りによる先鋭的なヨイク音楽。音楽は語りを中心にしてヨイク・スタイルのヴォーカルがバック・ヴォーカルを務め、或いはコーラス、或いはヴォーカルで共演し、二人の演奏家が土俗的で妖艶なサウンドを鳴らす。音楽の核にヨイク本来の呪術性が脈を打っていて、その革新志向の音楽性と相まって圧倒されてしまう。2012 作。DAT)

### [CD/ ICELAND]

\*LOW ROAR:Low Roar A  
(実は業者のミスで入荷してしまったアイスランドのSSWのCD。参考までに五つ星ばかりのアマゾンのカスタマー・レビューを一つだけご紹介します。

「流れる様な楽曲達。それは、雲か、川か、風か、目を閉じて聴き入ると何かの中に浮いているような気分になる。シンセサイザーがかなり独特の空気を生んでいる。人の嘆きのように聞こえる時もある。風の唸りに聞こえる時も、クジラのホイッスルのように感じることも。電子的な楽器のはずなのに『生きている』。一瞬、絶望？の様な淀んだ空気が一瞬流れることがある。しかしボーカルやギター、パーカッションがその暗さを拭いていく、もしくは拭おうとしているようにも聴こえる。ハッキリこうゆう音楽だと、言い切りたくはないし、明言できるような単純な音ではないと思う。言えるのは、『Low Roar にしか成せない最高の音楽だ』」2014 作。Tonequake)

\*FUNI:Flúr C  
(Funi は Bárá Grímsdóttir と Chris Foster のデュオ。英国トラッド・シンガーの Chris Foster がアイスランドのトラッド・シンガーの Bárá と活動を始めたのは 2001 年。本作の主役は Bárá。Chris は Bárá の清いシンギングを引き立たせるような役目で、ギターを爪弾き、ハーモニーする。本作は二人が見つけたアイスランドの民謡集の色合いが濃い、英国トラッドの美意識を高めた凛とした孤高感はアイスランドの極北感とイメージが重なって、珠玉の北欧トラッド・アルバムとなっている。アイスランドの擦弦楽器のラングスピルやカンテレやハンマーダルシマーの伴奏も極北感が感じられて、雪の結晶を見るように清々しい。2013 作。Green Man Productions)

\*OLOF ARNALDS:Innundir Skinni A  
(新たにデザインされた Olof の顔が表紙の特製ジャケット装丁。ケースを外せば元の装丁。本作が二枚目という不思議な魅力のアイスランドの女性シンガーだ。Olof のうたう声は今にも消えそうなか細い声で、気まぐれそうな独特の唄は、Vashti Bunyan や Tony Kosinec とイメージが重なる。“Surrender”という唄ではアイスランドの鬼才シンガーの Bjork がゲスト・ヴォーカルで、呪術的ムードを振りまき、極北的神秘性を極めてもいる。唄はアイスランド語と英語。極めて稀有な魅力の愛すべきSSWだ。2010 作。One Little Indian)

[CD/DENMARK]

- \*HELENE BLUM & HARALD HAUGAARD: Julerosen B  
(デンマークの歌姫 Helene Blum とデンマーク屈指のフィドラーの Harald Hugaard のデュオによる新作。本作はクリスマス・シーズン向けの「祝祭」と「祈り」のアルバムで、Helene のレパートリーはデンマークのトラッドや Emil Bønnelycke のようなデンマークの詩人の詩や隣国のトラッドにまで及び、それらの「祝祭」と「祈り」の詩歌を芯のしっかりした美声で、軽やかに、厳かに、楽しげにシンギングする。クレジットにはない 11 曲目に収められたヒドゥン・トラックは、Helene の清楚なシンギングによる胸キュンな曲。Timo Alakotila, Tapani Varis, Leo Svensson, Mikkel Grue, Sune Rahbek のフィンランド、スウェーデン、デンマーク混成のバンドの音楽は北欧トラッド+独創的な音楽を創作している。DVD 型 CD。2016 作。Westpark)
- \*FROMSEIER ROSE: Contradiction B  
(スコットランドやアイルランドのフィドル音楽に影響を受けたという女性フィドラーの Fromseier Rose と米国人ピアニストの Michael Rose の二人組。Michael は縁の下の力持ちというか、脇役的立場で、主にアイルランドとスコットランドの曲を Fromseier は、優美に晴れやかに演奏する。女性的というか、ヨーロッパ的というかトラッド的な土臭さが薄いのが、清々しい。そんな中、アイリッシュ・シンガーの Niamh Parsons が三曲で、見事なシンギングを披露し、釘付けにする。限定再入荷。Fromseier Rose)
- \*BONEZONE: In Session B  
(ZAR や Moving Cloud のメンバーらによって結成されたアイリッシュやスコティッシュをレパートリーにする五人編成のバンド。心地よいバンジョーとフィドルの響きと共に田舎っぽいというかのほほーんと心地よい音楽を風のように演奏する。Yiridy のヴォーカルは渋い渋い。2007 作。Go')
- \*HARALD HAUGAARD: Burning Fields B  
(トラッド、ジャズ、ロック、ハードロック、クラシック等等など、好きな味付けで、自由自在にフィドルを演奏しまくる。おまけにデンマーク随一の歌姫の Helene Blum の美声を 2 度も活用してもいる。創作意欲満開の多才で多彩な Harald の百花繚乱音楽。w. Helene Blum, Roger Tallroth, Tapani Varis, Rasmus Zeeberg, Sune Rahbek, etc. 2009 作。Pile House)
- \*LYDOM & HOIRUP: Svip Svap Svovlstikke B  
(両人ともデンマークのフォーク・シーンではヴェテランの、片やアコ&ハーモニカ奏者の Sonnich Lydom と片や世界的ギター奏者の Morten Alfred Hoirup のデュオ・アルバム。本作は Lydom が見つけ出したデンマークの伝統曲を中心にした選曲で、軽快なダンス曲を中心に中世風ダンス曲等を多彩に演奏する。2010 作。Go')
- \*HAUGAARD & HOIRUP: Rejsedage / Travelling D  
(7 度もの賞受賞のフィドルとギターの二人組の結成 10 周年記念 CD/DVD セット。Haugaard の家の森の中で収録された本作は半分がデンマークのトラッド

で残り半分が二人のオリジナル。デンマークのフォーク・ミュージックの発展に貢献してきた名演奏家二人による数々演奏はルーツ回帰的で美しく、そして華やいている。故郷の音楽と旅の記憶を心で奏でた素晴らしい音楽。w. Tapani Varis, Sonnich Lyddom, Sune Hansbaek。DVDはPALで2007年のコペンハーゲンの小さなカフェでのライブで38分とインタビューが41分。英語字幕付。2008作。Go')

\*HAUGAARD&HOIRUP: Gaestebud/Feast B  
(Haugaard&Hoirupの本作は欧米の音楽仲間達 [Sofia Karlsson, Ale Moller, Le Vent Du Nord, Alasdair Fraser, Natalie Haas, Karen Tweed, Helen Davis, Eileen Ivers, Karen Mose&Helene Blum, Niall Keegan, Channe Nussbaum等] をゲストに迎え、ある時は彼等を立て、ある時は彼等と競演し、音楽を楽しみかつ新たな友情的交配音楽をごく自然に流れるように生み出している。2005作。Go')

\*HAUGAARD&HOIRUP: Let's Dansk! B  
(Haugaard&Hoirupの2001年のドイツでのライブ。フィドルとギターとでデニッシュ・トラッドの素晴らしさを生き生きと楽しませ味わわせてくれる最高のライブ盤。全15曲。ハウガ-のフィドルは既に天下一品! 英語曲目解説付。2001作。ドイツStockfisch)

\*HARALD HAUGAARD・ANDERS MOGENSEN: Spirits B  
(H. Haugaardの本作はヴァイオリン・ジャズ・ドラマーとの共演。デンマークのフィドル曲や中世バレット等デンマークのフォーク・ミュージック中心の選曲。実際にはAndersのバンド仲間のギターとダブルベースも参加し、Harald&ジャズ・バンドによるデニッシュ・トラッドと言えるもの。2004作。Go')

\*AFENGINN: Akrobakkus A  
(バルカン音楽っぽいのがクリスマスっぽいのがジャズ音楽っぽいのがウケ音楽っぽいのをちゃんこ鍋にして煮込んで栄養満点のご馳走音楽を創作。2005年の"Danish World"賞優勝。2006作。Tutl)

\*EIVOR: Live A  
(フェロー諸島の歌姫 Eivor Palsdottir のライブ集。Eivor はアイスランドの音楽賞3部門入賞やシンガー&ソングライター・コンペティション優勝等ワールド・クラスの女性シンガーであることはご存知の通り。本作は2009年10月の東京でのライブを含む様々な場所でのライブ集。妖精に最も近い感性を持つシンガー。2009作。Tutl)

\*KARL SKAARUP: Musiker A  
(fRoots誌で絶賛した評者だけではなく、この85年の音楽人生を数える85歳の老人の若々しいアコーディオン演奏には舌を巻く。この歯切れのよいリズムが何とも気持ちいいし、長年ダンスのための音楽で培った自信のようなものが一音一音から体感できる。孫の年齢のKristian Buggeがフィドルで一体となった演奏を繰り広げるが、音楽には年齢差は一切ない。P20の英語ブックレット付。2009作。Go')

\*ESKIL ROMME: Himmerlandsmelodier A  
(1982年からデンマークの田舎で農夫をしながら音楽生活を愉しんでいるというソプラノ・サクソ奏者の四季折々の風薫る音楽。西風や野原や生き物や家族や旅や春夏秋冬等からイメージーションを膨らませた音楽。本人はKaren Tweed [イングランド], Morten Alfred Hoirup [デンマーク], Avi Solomon [カナダ], Ditti Fromseier [デンマーク], Peter Rosendal

{デンマーク}, Andrzej Krejniuk {ポーランド}等の客人を迎え、共に演奏  
すりことを愉しみ、客人達は Eskil のサクスから生み出される音楽の  
風景を共に愉んでいるかのよう。心優しい音楽。2009 作。Tutl)

\*SERRAS:0

B

(Herald Haugaard {フィドル}, Hans Mydtskov {サクス}, Sune Hansbaek  
{ギター}, Sune Rahbek {トラムス}, Mads Riishede {ベース} のフォーク・ロック・バ  
ンド。彼らが創作するフォーク・ロックはどこか北欧独特なワルコリックさを漂  
わせ、地響きするほど重厚。夏の開放感ある北欧の音楽とは対照的  
な冬の間の憂鬱さのようなもの感じられるもの。2008 作。Go')

\*SERRAS:Secondhand

B

(Herald Haugaard もメンバーの Serras の 2001 作。横綱級フォーク・ロックで圧  
倒する。マルチメディア機能付で、CD-ROM にはコンサート・ビデオ収録。Go')

\*ANJA PRAEST MIKKELSEN:Hemmeligheden/The Secret

B

(女性クラリネット奏者 Anja の本作はその響きからクリスマス・クラリネットの響き  
と重なるが、よく聴けば、生み出される音楽は詩情豊かで、音楽は  
デンマークのダンス音楽の範囲の音楽。彼女の両親はフォーク・ダンサーという。  
完全な独奏はなく、フィドル、ピアノ、リュウゲルホーン、アコ、ギター、チェロ、タフ  
などとの共演で、繊細で瑞々しい女性的な感性が全編に行き渡った  
品のよい曲集として結実している。2008 作。Go')

\*BALTINGET:Alive

B

(フィドル、アコ、ギター、ベース、パーカッションの今最も勢いのある 5 人組ダンス・バ  
ンドの本作は古い楽譜集などから見つけ出したダンス曲などを生き生  
き踊れる曲に蘇らせている。これぞデンマークのダンス音楽。イングランド  
なら Old Swan Band かな。2008 作。Go')

\*POUL LENDAL:Onskebarn

B

(この P. Lendal なるマルチ・インストゥルメンタリストによる本作のスケールの大きさに  
は恐れ入る。フィドルが一番の得意楽器のようだが、アコーディオンやニッケル  
ホルン {と想われる} やカテレや口琴等をフィーチャーし、トラッドのグループ編成  
で繰り広げられる音楽はデンマーク~北欧のダンス音楽やトラッドの薫り  
濃厚。w. Karen&Anna Mose, Morten Alfred Hoirup, Bitten Lendal,  
Keld Norgaard, Carl Erik Lundgaard, etc. 全 22トラック。2005 作。Go')

\*KIRSTINE SAND:Det Dansende Par

B

(Carl Nielsen Academy of Music 出身の若手女性フィドル奏者の瑞々  
しいデビュー・アルバム。2007 作。Go')

\*KRISTIAN BLAK&YGGDRASIL:Askur

C

(1981 年結成のフェロ諸島のジャズ・ロック・バンドの新譜。2 枚組。1982~  
2006 年間のライヴ音源からの編集盤。5 曲で Eivor Palsdottir が  
ヴォーカル担当。2007 作。Tutl)

\*FAERD:Faerd

A

(Back In Stock。Karen Tweed と Ian Carr を含む 5 人組の 1 枚目。  
英語解説付。2002 作。Tutl)

\*FAERD:Logbok

A

(デンマークのフィドル名手の Peter Uhrbrand にアコーディオンとサクスとヴォーカル  
の Eskil Romme そしてスウェーデン人ギター&ベース奏者で Trio Mio の  
Jens Ulvsand のトリオ。フェロ、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、オランダ、シエラント、  
Karen Tweed に捧げた曲や Karen Tweed に教わった曲等フェロ周辺

の音楽を前作同様波に揺られるように心地よく演唱する。圧巻はゲストヴォーカルの Julie Hjetland の 2 曲。2006 作。Tutl)

- \*TOVE DE FRIES&MALENE D. BECK:Balance B  
(フィドルとピアノによる優雅なダンス曲やケープ・ブレトン・スタイルのダンス曲等  
など軽やかに演奏する。フォーク・ダンス・ファンにはくすぐられる音楽。  
2003 作。BAL0103)

### [CD/SWEDEN]

- \*DOGGERLAND:No Sadness Of Farewell B  
(英国人 Richard Burgess {ヴォーカル、コンサティーナ、ギター他} とスウェーデン人北欧トラッドの名演奏家 Anders Ådin {ギター、ハーディーガデー} の二人組 "Doggerland" のデビュー作。英国フォーク & トラッド的感性なのだが、北欧の自然環境や生活やトラッドの影響だろう。感性が清々しくて、夢想的というか、Richard のシンギングもイングランド、北欧トラッド混在のアコースティック・サウンドも、その究極の美しさに息をのむ。Richard Burgess なるシンガーの名は初耳なのだが、彼のシンギングに加えて、Anders の演奏を含む二人の演奏の見事さは、まさに孤高。w. Kevin Henderson, Mats Eden. 2017 作。Westpark)
- \*RAMLOSA KVALLAR:Nights Without Frames (1993 作。Resource) C
- \*KEBNEKAJSA:Electric Mountain (1993 作。Resource) C
- \*GARMARNA:Vitrad (1995 作。Xource) B
- \*GARMARNA:Hildegard Von Bingen (2001 作。MNW) B
- \*GROUPA:Fjalar B  
(Sofia Karlsson がヴォーカルの Groupa の 2002 年作はスウェーデンのトラッドの奥行き深く、清新なスピリットみなぎる無敵のトラッド。北欧トラッドの傑作。2002 作。Xource)
- \*AHLBERG, EK & ROSWALL:AER B  
(Ranarim のメンバーでスウェーデンを代表するニッケルハルパ奏者の Niklas Roswall と女性フィドル奏者の Emma Ahlberg とギター奏者の Daniel Ek のトリオの三枚目。スウェーデン北部のメーデルパッド地方の古いフィドル曲や祖父から学んだ曲や複写本から見つけ出した曲などフォークやクラシックのジャンルを超えた曲をトラッド・ミュージシャンとしての鋭い感性で愛情深く演奏した素晴らしいアルバム。魂の響演と言ったら、堅苦しくなるが、そう言いたくなるほど、響演の質が非常に高い。音の響きすべてが、誠心誠意磨き抜かれた北欧サウンド。2015 作。Westpark)
- \*ULRIKA BODEN:Ratt Nu Ar Det Pa Tiden A  
(Ulrika が個人的に影響を受けたフォーク収集家 Frans Bergvall {1903-95} と古代の歌唱スタイルを受け継ぐシンガーの Karin Sikstrom {1899-1981} の二人から学んだ伝承歌集。2004 作。Drone)
- \*DRAUPNER:Halsingland C  
(Henning Andersson {フィドル}, Goran Antonsson {フィドル}, Tomas Lindberg {ギター} の男性三人組の Draupner の本作は彼らの出身地「ヘルシングランド」をタイトルにしたアルバム。二台のフィドルと一本のギターが紡ぐ音楽の何と美しいこと！雪が舞う音楽というか、雪の結晶のよ

うな音楽というか、二台のフィドルは絡み合いながら北欧のダンスのリズムで舞い踊りするのだが、その演奏の緩急が見事で、勢い北欧トラッドの極めつけの美しさを描ききっている。2013 作。Dimma)

- \*SIMON SIMONSSON, OLLE SIMONSSON, KJELL-KRIK ERIKSSON  
& JOEL BREMER: Pigtjusarsvang C  
(1945 年、1947 年、1971 年、1978 年生まれのフィドル奏者三名とヴァイオリン奏者一名の偏った編成のスウェーデンのダンス音楽グループ。四人の楽師が奏する音楽は彼らが普段の暮らしの中で、愛し、楽しんだダンス曲。味のあるフィドルの音が最高。2013 作。Dimma)
- \*TRANOTRA: Trading Nordic Tradition C  
(スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマークの四名 {一姫三太郎} の若者による汎北欧トラッド・バンドの爽快デビュー作。楽器編成はフィドル二台、アコーディオン、クラリネット。この四名、若造だからと言って馬鹿には出来ない。いやはや北欧トラッド風味溢れる爽やかな音楽は物凄く気持ちが良い。即席のバンドで、音合わせ程度のレベルかと思いきや、複合的な演奏の妙技が素晴らしく、しかも音楽がタイト。クラリネットの低いリズム的な音が結構面白い。2013 作。Gammal thea)
- \*HOVEN DROVEN: Rost A  
(Hoven Droven の 2011 年作。2011 作。Westpark)
- \*HOVEN DROVEN: Hippa A  
(Hoven Droven の Great な 2001 年作。Home)
- \*HOVEN DROVEN: Turbo (Great! 2004 作。Home) A
- \*CHRISTER LUNDH: Di Gamlaste Bidana B  
(1962 年にテープ・レコーダーを買って以来、老人の唄や音楽や語りの録音は何百にもものぼるといふ。Christer は伝統歌や数百年前作曲の唄等を微妙にトーンを震わせて、うたい聴かせるようにうたう。この震えた感じと穏やかな歌唱がルンペンぽいといふかスウェーデンの古謡の不思議な魅力を生んでいる。様々な古びた唄が Christer のぬくもりのある唄を通して、魅力的な物語歌へと変身を遂げる。2009 作。Nordic Tradition)
- \*MIKE MARSHALL & DAROL ANGER WITH VASEN B  
(M. Marshall {マントリン} & D. Anger {フィドル} とスウェーデン屈指のトラッド・トリオの Vasen との共演盤。は強烈。Vasen の音楽を核に、Mike & Darol が巧みな演奏で彩りとエフェクトを注ぎ、多彩で多重な音楽を創作し、その高度なレベルで持続し続けるテンションは圧巻。いわばパワーアップした新生 Vasen。2007 作。Adventure Music America)
- \*OLOV JOHANSSON: I Lust Och Glod C  
(Vasen のニッケルホルン奏者の Olov のヨコ 2 枚目は自身の小さな小屋で録音したもので、極力シンプルにヨコ演奏又は友人演奏家とのデュオで演奏したもの。Olov のニッケルホルン音楽を愛する心が伝わってくる珠玉の 22 曲。2007 作。Drone)
- \*PEROLS GUDMUND OLSSON: Fiddler From Rattvik C  
(“Historical Recording Of Swedish Folk Music IX”。Rattvik というところのフィドル奏者 {1890~1981 年} の 1970 年代の音源から 38 曲。約半数はダンス曲のホルスカ。スウェーデンのフィドラーの精神が脈打つ演奏の数々。P32 のブックレットは英語解説他レトロな風俗写真など。ブックレットの

- ホッキスにサビ有り。2004 作。Hurv)
- \*SVANEVIT:Gryning C  
(Svanevit のデビュー作。身が引き締まるほど気高く清々しいスウェーデンのトラッドだ。英語解説付。2005 作。Westpark)
- \*KERSTI STABI:Ute Blaser Sommarvind C  
(Alice Tegner という音楽家のカバー集。草原の薫りの北欧トラッド。w. Erik Rydvall [ニッケルハム], Anders Lofberg [チェロ], Magnus Zetterlund [マンドリン、ハーモニカ] 他。全 19トラック。2008 作。Modesty)
- \*NARA:Om C  
(Nara は元 Gunnfjauns Kapell で Gotland 出身の名女性トラッド・シンガーの Gunnel Mauritzson とストックホルム出身で国民的人気のフィドルの大御所 Bjorn Stabi とアコーディオンの大御所 Bengan Janson のトリオ。Gotland のトラッドほかスウェーデン各地の伝承歌を Gunnel はスウェーデン・イッシュ・トラッドの芳香薫る美しい唄を素朴にうたう。絶品。2006 作。Caprice)
- \*GUNNEL MAURITZSON:Raisu Aut B  
(元 Gunnfjauns Kapell で現 Nara のシンガーの Gunnel の隅から隅みまでスウェーデン色の美しいスウェーデンのトラッド・アルバム。w. Roger Tallroch, Hans Kennemark, Rickard Astrom。2003 作。Xource)
- \*ALE MOLLER:Hasten Och Tranan B  
(名盤。w. Lena Willmark, Roger Tallroth, Ellika Frisell, Olle Steinholz。96 作。Amigo)
- \*MAGNUS STINNERBOM&DANIEL SANDEN-WARG:Harv C  
(フィドル・デュオでスタートした Harv の実質的デビュー作。97 作。Amigo)
- \*KEBNEKAIJSE:Electric Mountain B  
(11 曲入編集 CD。73/75/76/77/93 作。Resource)
- \*SALTA:Salta B  
(理想の北欧トラッドの一枚。Ulrika 嬢の美味シンギングがフィーチャーされたトラッド〜フォーク・ロックはあの Folk&Rackare を彷彿。必聴。97 作。Amigo)
- \*BASK:Slakt B  
(フィドル、サクス、フルートのトリオの確か 2 枚目。フィドルやフルートと同等にサクスが太い低音でトラッドし、ホルスカを舞う。北欧トラッド臭ふりまくフィドル&フルートと太く色彩感あるサクスが螺旋に絡み、自在にハーモニイズする。不思議な色彩感漂う大人のトラッドである。2002 作。Xource)
- \*HEDNINGARNA:Kaksi (92 作。Silence) C
- \*HEDNINGARNA:1989-2003 ¥1990  
(Hedningarna の偉大さが解る全 18 曲入編集 CD。2003 作。NorthSide)
- \*KENNY HAKANSSON:Hjartats Gatbok B  
(「スカンディナビアの哀愁に彩られた元 Kebnekaise の K. Hakansson のソロ。Kebnekaise の音楽とも、また前作のギター・アルバムとも全く違う哀愁の SSWアルバム。ギターはさずがに鮮やか。2001 作。Hawk)
- \*CHATEAU NEUF SPELEMANNSLAG A  
(副題“New Roots from Norway”。様々な音楽性を持つ連中によって結成された若きトラッド・バンド・バンド。生粋のトラッドからロックやジャズ風まで。96 作。トイフ Feuer&Eis)

[CD/FINLAND]



\*SUDEN AIKA:Sisare

C

(元 Tallari の Liisa Matveinen {ウゝォーカル、カンテレ}, Värttinä の Karoliina Kantelinen {ウゝォーカル、カンテレ、フルート、パーカッション}, Veera Voima {ウゝォーカル、フルート、パーカッション}, Katariina Airas {ウゝォーカル、ハーフ、フルート} の女性四人組ヴォーカル・グループ“Suden Aika”の待望の新作。フィンランドと同じ文化圏のフィンランドの古いスタイルの口伝の詩歌に彼女等が曲を付け、清く土俗的なシンギングとカラフルなコーラスと必要最小限の効果音的なフィニッシュ・トラッド・サウンドで、新生のトラッドとして蘇らせたもの。彼女らのシンギングと音楽はフィンランドに生きた人々の心と魂を呼び覚ます。特に数曲の Värttinä 風な味わいの唄などは、ロシアのカレリア地域のヨイクの研究家でもある Karoliina の存在が大きい。聖と俗とが混在した比類無きフィニッシュ・トラッド・アルバム。2018 作。Laika)

\*KAREN TWEED・TIMO ALAKOTILA:Mid Summer May Monday

C

(2001 年作の前作“May Morning”に次ぐ Karen&Timo の二作目。前作同様“May Monday”を冠した本作は、終始夢心地。冬が長い欧州人にとって五月というのは、特別な想いがあるのだろう。そしてその月の朝というのは、特に夢うつな想いを持つのだろうと、二人のアコーディオンとピアノの演奏から編み出される音楽を聴いていて思う。音楽性はアイリッシュ、スコティッシュ、ノルディックを中心に多彩だが、音楽性云々以上に音楽が自由で、朝露のように爽やかで、思いっきり健やか。昔フォークフェス通いをしていた頃、キャンプ地などでミュージシャン達が自由なセッションをしていたときに耳にしたような音楽とその風景を思い出してしまった。ゲスト:Catriona McKay {9 曲も演奏}。2017 作。Akerö)

\*MAIJA KAUHANEN:Raiivopyörä

B

(Folk' Avant のカンテレ奏者の Maija Kauhanen のソロを聴いて驚いてしまった。というのも Maija はカンテレ奏者としてのみではなく、トラッド・シンガーとして天才的で、フィンランドの伝承歌に宿る魂のようなものを吸い上げて、消化して、独自のセンスでシンギングするのだから。カンテレの伴奏もちょっと今まで聴いたことがないようリズム感豊かな、まったく退屈しない鮮やかな演奏で、それも不思議とワクワクさせられる演奏で、ある種妖気さえ漂う彼女のシンギングは、そんな彼女のカンテレの演奏を伴って、彼女のオリジナルなフィニッシュ・トラッドな世界を見事に創作している。圧巻。2017 作。Nordic Notes)

\*ARTO JARVELA & KAIVAMA:Arto Jarvela & Kaivama

A

(Arto {フイドル、ニッケルハープ} と Kaivama {Sara Pajunen=フイドル&Jonathan Rundman=ギター、マンドリン、ピアノ} との共演は、フィンランド系アメリカ人の Sara が 2010 年にフィンランドにフイドルを学びに訪れたことに始まる。翌年 Arto がアメリカツアーのことで Sara に接触。結果一緒にツアーが実現。本作の録音は米国。フイドル二台、又はフイドルとニッケルハープをフィーチャーしたサウンドは、屋外で気持ちよくライブ演奏しているような自然な抑揚のある音楽で気持ちがよい。師と生徒でありながら、音楽がとても調和し

- ている。2012 作。Salt Lady Music)
- \*KTU: Quiver B  
 (BBC で Planet 賞受賞のフィンランドの新進気鋭の音楽家 Kimmo Pohjonen  
 {アコ、ヴォイス} 率いる KTU {発音は K2} の新作。Kimmo に Trey Gunn {ギター}、  
 Pat Mastelotto {リズム装置} のトリオによる捉えどころのない宇宙的  
 変幻自在音楽。フラネリウム気分。2009 作。RockAdillo)
- \*LIISA, TELLU, TAITO&TALLARI: Runolautanssit C  
 (2000 作。Kansanmusiikki)
- \*TROKA: Troka (94 作。Olarin) C
- \*ZETA BOO: Outer Rail 0 B  
 (Anna-Mari Kahara {ヴォーカル、アコ他}、Pekka Lehti {ベース}、Jorma  
 Saari {ギター、カヴァーキーボード、トロンボーン、ラップスティール、キーボード、パーカッション}、  
 Marko Timonen {ドラムス、パーカッション} の 4 人組バンドが創作する音楽は  
 南国志向の桃源郷音楽。2006 作。Aito)
- \*ARTO JARVELA: Far In! B  
 (フィンランド屈指のフィドル奏者 Arto の 2004 年作。OArt Music)
- \*ANNA-KAISA LIEDES: Utua (2004 作。texitalli) B
- \*GJALLARHORN: Nordheim A  
 (ヴァイキング・ロック・バンドの Gjallarhorn の豪放なロック。  
 2005 作。SPV)
- \*ALAMAILMAN VASARAT: Kaarmelautakunta B  
 (北欧感性に裏打ちされたバルカン風ロック。2003 作。Silence)
- \*BARKA VALI: Skogsflot B  
 (ホーン湾のオーランド島の 7 人組強力フォーク・ロック・バンド。言葉はスウェーデン  
 語。トラッドとロックが四つに組み、かつ二人の女性がヴォーカルが北欧の神  
 秘性を振りまく、といった正当的北欧フォーク・ロック。2000 作。Barka  
 Vall)

### [CD/NORWAY]

- \*INGEBJORG LOGNVIK REINHOLDT: Songen Om Guro B  
 (ノルウェーから若き歌姫がデビューした。本作はノルウェー南部  
 のテレマルク地方の伝統歌をうたったもので、それらは元々は詩  
 なのだが、伝統的なメロディでうたわれてきたという。そして一部  
 はいつしか伝統的なシンギングのスタイルになったという。  
 Ingebjørg のシンギングは、北欧トラッド風味満点の理想的なシン  
 ギングで、極北的に清いシンギングで魅了するのみではなく、柔ら  
 かなシンギングやダンスのリズムによってリズムカルなシンギン  
 グでも魅了する。Sarah-Jane Summers {フィドル}、Juhani Silvola {ギ  
 ター}、Morten Kvam {ダブルベース、ヴォーカル} による伴奏は必要最小限な  
 がら、ぴりっと先鋭さもある北欧トラッドのつぼを得た演奏で、  
 Ingebjørg のシンギングの極北的質を高めている。本作は 1654 に建  
 てられたという Flatdal 教会にある Guro と呼ばれる谷の近くで録  
 音されている。トラッドをうたうには理想的な場所ですよ。  
 2017 作。Talík)
- \*FOLQUE: Folque C  
 (ノルウェーのフォーク・ロック・バンドの一枚目。1975/1993 作。)

Pan)

- \*GJERMUND LARSEN TRIO: Salmeklang B  
(Gjermund Larsen [フィドル] と Andreas Utne [ピアノ他] と Sondre Meisfjord [ダブルベース] のトリオによる本作は、何よりリーダーの Gjermund Larsen の極北的な感性抜群の北欧フィドルに心奪われる。北欧の伝統的なフィドル・ミュージックを消化し、昇華したようなハイセンスの夢のように美しい北欧フィドルを奏でる。音楽が頭の上で舞う感覚。弓弾く指の先まで、細かな神経が使われていて、細く繊細な音の表現力が抜群な上に、ダンスブルな曲もスリリングで抜群。まさに天才フィドラーだ [風貌も?]。10 曲中後半の 4 曲はトラッド・グループ "Nordic" との共演で、Gjermund のフィドルをフィーチャーしつつ、ノルウェーのトラッドの香りをほのかに発させている。2017 作。Galileo)
- \*PER ANDERS BUEN GARNAS: Greinir B  
(ノルウェーのハルディングフェーレ奏者の Per Anders Buen Garnås の極北的な感性で貫かれた完全無欠のハルディングフェーレ音楽。本作はノルウェーの伝統的ダンス音楽の Springar と Gangar とを中心にしたノルウェーのダンス音楽を Per Anders はハルディングフェーレの持つ民俗的な響きを強調しながら、まるでメディテーションするかのように自由な音楽を創作する。唯一無比の素晴らしい北欧トラッド・アルバムだ。ある種、北欧の星降る夜空を旅する気分。全 13 トラック。2014 作。Ta:lik)
- \*SIGRID MOLDESTAD: Sandkorn B  
(ノルウェーを代表する女性フォーク・シンガーの Sigrid の本作はスコットランドの Robert Burns 作の名曲 3 曲と伝統歌 2 曲と残りは Sigrid の自作曲という曲目で、自身が奏でるハルディングフェーレ等がノルウェーのトラッドの薫りを撒き散らす中、Sigrid の軽やかな節回しの唄は北欧風味を薫らせ、詩情豊かで美しい。2010 作。Heilo)
- \*TRITULEN: Tritulen B  
(Tritulen は Ebba Jacobsson をヴォーカルに据えた女性 2 名と男性 1 名のトラッド・グループ。ノルウェー西海岸の伝統曲を中心にした選曲で、Ebba のシンギングもフィドル、ギター、アコの演奏も極北トラッドの薫りを発するが、ストイックな極北性ではなく、穏やかでほんのりと牧歌的な極北性。Ebba のリルティングも新緑の森の中を口ずさみ散歩するような爽快気分のリルティック。2012 作。Etnisk Musikkklubb)
- \*JENNY LYSANDER: Northern Folk B  
(理想的なブリティッシュ・フォークスタイルの女性 SSW アルバム。レコーディングは美しい自然環境にある田舎のスタジオ。これまでに「Nic Drake 風」と持ち上げる SSW アルバムが何枚もあったが、本作は「Nic Drake 風」なアルバムの中では、清々しく健やかな「Nic Drake 風」なアルバム。Jenny の夢は空想ロマ。新鮮な空気を運び込む繊細極まりないアコースティック・ギターの演奏と共に、優しく空想ロマの世界へと誘われる。歌詞は英語。2015 作。Beating Drum)
- \*TORE BRUVOLL・JON ANDERS: Halvorsen Nattsang B

(ノルウェーの Telemark という地方のトラッド集だが、Jon のシンギングは清流の清々しさ。終始神経の行き届いた感性鋭いギターで付き合う Tore のギターが全体の空気を清らかに引き締めている。身震いの逸品。2004 作。Grappa)

\*FRA DE MOLLSTEMTE SKOGER: Sa Lengi Du Kjaem Att B

(Fra De Mollstemte の一枚目。北欧トラッドではない。むしろ一輪の花的な女性ヴォーカルをフィーチャーした北欧のフォーク・ロック・バンドの線上の北欧アコースティック・フォーク・アルバム。アコースティックだが、ギターやチェロやフイドルの演奏は深く北欧サウンドを奏で出していて、北欧的情緒を発している。彼らが生み出す世界は、70 年代ブリティッシュ・フォークの夢心地な世界と通じる。ただ、壊れそうに美しい高音の女性ヴォーカルは、極めて北欧的だが。2012 作。Ta:lik)

\*BLATT GADN: Blått Gådn C

(Blått Gådn はノルウェー南部のヴァルデリス地方の三人組 = Ingvild Lie {ヴォーカル、ランゲレイク}, Harald Høyvik {ギター、マンドリン}, Lars Skattebu {ホルン、ムンム} のトラッド・グループ。民俗楽器のランゲレイクを爪弾きうたう Ingvild のシンギングは、ある種マウンテン・ダルマーをかき鳴らしたうたうアパラチア民謡を連想させるが、当然ながら、ノルウェー流のトラッド・シンギングはノルウェー民謡風だし、ダルマー風の音色はノルウェーの土の香りを放っている。二人の男性ミュージシャンは、Ingvild の引き立て役。一歩下がって、引き立て役に徹しているのが功を奏している。Ingvild の自然な節回しと音楽全体を覆う穏やかさが心和む。2013 作。Ta:lik)

\*SUDAN DUDAN: Inntil I Dag C

(Sudan Dudan は Marit Karlberg {ヴォーカル、ランゲレイク} と Anders E. Roine {ヴォーカル、ギター、口琴} の男女の二人組。彼らの音楽は 11 曲中 8 曲がノルウェーの伝統歌。しかし彼らのトラッドは彼らのフィルターを通して創作された魅力的な北欧印トラッド。リード・ヴォーカルの Marit のシンギングはきっちりとノルウェーのトラッド・シンギングを身につけた上で、様々な伝統歌に身を寄せてうたう。Anders がつま弾く典雅なギターと Marit が奏でる素朴で土俗的なノルウェーの民俗楽器のランゲレイクの伴奏が、Marit のシンギングをある種の緊張感の中で、引き立てている。2013 作。Ta:lik)

\*TRON STEFFEN WESTBERG: Gammelpols C

(スウェーデンとの国境に接するノルウェーのレーロス地方のフイドル・ミュージック。レーロスのブレンゲン出身の Tron は「1880 年～1890 年代に生まれたフイドラー達の古い録音を聴いたとき、彼らのフイドル演奏法は、「ダンスのための演奏」と感じた」と、ライナーに書いている。Tron の集中力ある演奏は、闇の中を一筋の音が舞いながら美しい白線を描くかのよう。究極的に美しい北欧フイドル・ミュージック。ジャケットもブックレットもモノクロの世界。全 26 トラック。2013 作。Ta:lik)

\*KELPIE: Live B

(ケルティックな香りを添え、ノルウェーの神秘的妖精の世界を唄と耳に優しく新鮮なアコースティック・サウンドで創作する Kerstin Blodig {ギター、バウロン、ブズーキ} & Ian Melrose {ヴォーカル、ギター、羊飼いの柳皮の笛、ホイッスル} の Kelpie の本作は、スウェーデンの Kelpie サウンド。このスウェーデンの Kerstin の妖精ヴォーカルは気負いがなく、森の中をそよぐ風のように自然で

- いい。2010 作。Westpark)
- \*RYDVALL MJELVA: Isbrytaren G  
 (数曲聴くなり、背筋がゾクゾクっとしてしまった。スウェーデンのニッケル  
 ハルバとノルウェーのハルディングフェールの音色は似通ってると思っ  
 てはいたが、その似た特徴と双方が国民的伝統楽器であることに着目し、ス  
 ウェーデンとノルウェーの二人の若者奏者が共演したアルバムが本作。若者  
 というのは忘れた方がいい。彼らの響き合う音楽を聴けば、その北  
 欧音楽の美しさに魔法をかけられてしまうだろうから。素晴らしい  
 北欧の音楽と出逢えた。2013 作。Heilo)
- \*ELI STORBEBKEN: Songen Til Floyta B  
 (本作は Mari Boine のフロウターの Georg Buljo の勧めで、Egil  
 Storbekken 生誕 100 周年記念に制作された Egil 作曲集。11 曲中、縦  
 笛をフィーチャーしたインスト曲の 2 曲以外は全曲唄もので、Egil の娘 Eli の  
 魅惑のシンキングとノルウェーのトラッドをベースにした多彩な音楽で、Egil の  
 広く北歐的に雄大な音楽の世界へと誘う。ノルウェーの自然を愛した父  
 親の音楽の心が確かに娘に受け継がれている。2012 作。Echofisk)
- \*KIM ANDRE RYSSSTAD: Vegen B  
 (若きノルウェーのフォーク/トラッド・シンガーの K. Andre の本作は、伝統歌や中世  
 バラッド等を演唱したものだが、Kim の音楽性は北欧トラッドのスタイルと  
 いうより、ブリティッシュ・フォーク/トラッドのスタイル寄り。4 曲目の“Heming”はノ  
 ルウェーのフォーク・ロック・バンドの Folque も演唱していた伝統歌。2011 作。  
 Grappa)
- \*CAMILLA GRANLIEN & KRISTIN SEVALDSEN: Aftenstemning C  
 (北歐屈指のトラッド・シンガーの Camilla の本作は女性サクソ奏者兼ヴォーカ  
 ルの Kristin とのコラボ。Bjornstjerne Bjornson{1832-1910}の詩に  
 Camilla がトラッド調の曲を付け、Camilla のシンキングに Kristin 他のジ  
 ャズ系のゲスト・ミュージシャンが即興的に伴奏を付けた即興性の高いシンギ  
 ング・アルバム。ノルウェー独特な感覚のジャズ仕立てのノルウェー・トラッドだ。2011  
 作。Talik)
- \*BUKKENE BRUSE: Bukkene Bruse B  
 (Arve Moen Bergset, Annbjorg Lien, Steinar Ofsdal の Bukkene  
 Bruce のデビュー作。1993 作。Grappa)
- \*ANNBJORG LIEN・BJORN OLE RASCH: Come Home B  
 (2009 作。Grappa)
- \*UNNI LOVLID: Rite (2009 作。Grappa) B
- \*KARI BREMNES: Svarta Bjorn B  
 (1998 作。Kirkelig Kulturverksted)
- \*WIZARD WOMEN OF THE NORTH a  
 (ノルウェーのトラッド・シンガーとミュージシャン{Tone Hulbaekmo, Annbjorg Lien,  
 Sinikka Langeland, Aurola Borealis, Asne Sunniva Soreide,  
 Kirsten Braten Berg, etc}を中心にフィンランドから Tallari{1 曲}と  
 Tellu{2 曲}そしてスウェーデンから Susanne Rosenberg{2 曲}を加えた  
 編集 CD。全 19 トラック。北欧トラッド・シンキングの粋が味わえる。1998 作。  
 Heilo)
- \*EPLEMOYA SONGLAG: Eplemoya Songlag B  
 (女性北歐トラッド・シンキング特有の毅然とした美しさを保持しつつ新

鮮な感覚が脈打つ女性がヴォーカル・トリオの鮮烈なデビュー作。リード・ヴォーカルを取る Liv Uivik の伝統的シンギングを Wenche Losnegard と Anja Eline Skybakmoen の二人がリズム楽器や伴奏楽器や喉唄の効果音で強力にバックアップし、Liv のシンギングは天空をかけたか、妖気を帯びたりする。北欧ならではの素晴らしきヴォーカル・ミュージックの世界だ。  
2010 作。NORCD)

- \*FRIBO: The Ha' O' Habrahellia ¥800  
(ルウェー人シンガーの Anne Sofie Linge にスコットランド出身のハルディングフェーレ奏者でヴォーカルの Sarah-Jane Summers とイングランド出身の口琴、ギター、マンドーラ奏者でヴォーカルの Ewan MacPherson のトリオ。Anne の軽やかで澄んだスクットを含めたシンギングはルウェーの女性トラッド・シンギングの理想の風合い。2006 作。Fellside)
- \*OLD TIME DANCE MUSIC ¥1980  
(副題“Masterpieces from Norway”。ワルツ、ラインダンス、マズルカ、ホルカ等の“Old Time Dance Music”の演奏集。全 23トラック。演奏は Bukkene Bruse 他。ブックレットには「百年の歴史を持つポップミュージック～民族音楽」について日本語でも書かれている。97 作。Grappa)
- \*TARJEI ROMTVEIT: Kvenneslatten ¥1980  
(1925 年生まれの名ハルディングフェーレ奏者の Tarjei の名演奏集。発売時 70 歳のいあやはや年齢を感じさせない華麗な演奏だ。全 41トラック。95 作。Buen)
- \*STORSKOGEN SPELLMANNBAND: Villspika B  
(フィドル、ギター、チューバ、サクソ、クラリネット、ベース、パーカッション他のユニークな楽器編成の 6 人組トラッド・バンド。2000 作。Grappa)
- \*BLAMANN BLAMANN: Blamann Blamann B  
(「フェアポート・タイフのフォーク・ロック・バンド」との宣伝文句だが、きっちりルウェーのトラッドがベースになった上で、トラッドからフォーク・ロックまで展開する。2001 作。Grappa)
- \*LARS UNDERDAL: Gullfakse B  
(Hardingfele 奏者によるダンサブルな音楽。Telemark 地方の音楽。98 作。NOR-CD)
- \*CHATEAU NEUF SPELEMANNSLAG A  
(副題“New Roots from Norway”。様々な音楽性を持つ連中によって結成された若きトラッド・バンド。生粋のトラッドからロックやジャズ風まで。96 作。ドイツ Feuer&Eis)

### [CD/LATVIA]

- \*ZARI: Sazaroti B  
(Zari は Liene Krizevica と Ieva Dreimane の二人の歌姫を擁する二姫三太郎のラトヴィアのフォーク・ロック・バンド。彼らはラトヴィアのフォーク・ソングを伝統的なメロディーに乗せて演唱する。歌姫達のシンギングは北欧風に尖っていて、創作されたフォーク・ロックはロックのセンスも創作力も豊かで、先進的で、大いに魅力的。北欧地域のトラッド・バンドの中では、かなりロック寄りのバンドだが、そのセンスの良さと勢いあるロックと一体化した歌姫達の尖ったシンギングは、ラトヴィア民謡の民俗性を北欧

風に高めていて圧巻。世界クラス。2017 作。Lauska)

\*SYMBOLIC:Muzam Saule Debesis

B

(五太郎から成るラトヴィアのフォーク・ロック・バンド“Symbolic”のデビュー・アルバム。デビュー・アルバムだが、結成は 2000 年の大ヴェテラン。民族楽器とロック楽器の混成だが、ドラムス、ベース、エレキギターが全面に出ていて、リード・ヴォーカルの Uldis Kakulis のラトヴィア魂を鼓舞する堂々たるシンギングと相まって、ヴォルテージの高いフォーク・ロックを体現している。唄のテーマは先祖、自然、神話など、ラトヴィア文化を象徴する民俗性の高いもの。Uldis のヴォーカルもバンドのロックも神がかっている。近年お目にかからなくなったヘヴィー級フォーク・ロック。2017 作。Lauska)

\*BRALI UN MASAS:Divējādi

B

(Brāļi Un Māsas は Kristīne Kārkle {ヴォーカル、ヴァイオリン} なる魅惑の女性トラッド・シンガーがヴォーカルの二姫三太郎のトラッド・グループ。彼らはラトヴィアの伝統歌を彼ら独自のフォーク、ロック、ジャズなどを織り交ぜた音楽センスで演奏し、Kristīne はどんなサウンドであろうと屈指の揺るぎないシンギングを披露し魅了する。Kristīne はトラッド・シンガーとして天下一品保証。他のメンバーは Edgars Kārkliis {ヴォーカル、アコ、フルト、バグパイプ}, Artis Orubs {ドラムス、パーカッション他}, Ilze Grunte {12 弦ギター、ハープ、ハンゾー}, Andris Grunte {ダブルベース}。2016 作。Lauska)

\*AUJI:Aulos...

B

(ご存じバグパイプと太鼓のグループの Aiji の 2007 作。他にギガという大型フィドルやダブルリードの笛にヴォーカルも加わった音楽は各楽器の伝統色豊かなアンサンブルが見事で、勇壮な音楽を華麗にダイナミックに創作している。2007 作。Lauska)

## [CD/ESTONIA]

\*MAARJA NUUT:Une Meeles

B

(Maarja 嬢はエストニアの神話や伝説そして 20 世紀初めのフィドルレコーディングなどを研究し、唯一無比の優れたエストニアのトラッドを創作する。彼女のシンギングとフィドルの演奏は伝統に強く根ざしながらも、いにしえのエストニアに誘われるような夢幻性を帯びていて、先鋭性と孤高感が感じられるもの。全てが秀逸。2016 作。Maarja Nuut)

\*SOFIA JOONS·EMMA HARDELIN·MEELIKA HAINSOO

:Strand...Ran

B

(三人の歌姫によるスウェーデンの最高レベルの女性トラッド・シンギングを聴く感触のエストニア西海岸の伝統歌集。Sofia はエストニア系スウェーデン人、Emma は Triakel、Garmarna のヴォーカルでスウェーデン人そして Meelika はフォーク・ロック・バンドの Vagilased のヴォーカルでエストニア人。唄は弓奏ハープ、フィドル、チターなど素朴な伴奏或いは無伴奏でうたわれていて、歌姫それぞれがまっすぐな孤高のシンギングで魅了する。2001 作。Johanson&Vennad)

\*KART JOHANSON:Seitse Une Nagu

B

(ストーリーテラーで女優の Kart が 2000 年以上の歴史を持つと言われている

ルン・ソングをうたったアルバム。Kartの唄はミンクのような感じだったり意味不明な言葉遊びや呪文のような唄だったり、賛美歌のようだったり、不思議不思議。2004作。Arm Music)

\*SILD:Tro

B

(エストニア人でヴォーカルとHiig-Kandleというエストニアのフォーク系楽器奏者のSille Ilvesとギター&ヴォーカルのMartin Leamonのデュオで活動する二人組のSildの本作は2枚目。デュオとエストニアの伝統歌だが、Silleの野趣な味わいを秘めた軽快で美しいソングとスクワットは絶品だし、彼女が奏でる民俗性高いやはり野趣な味わいのエストニアの伝統楽器のHiig-Kandleは荒野の原へと誘う。野性と夢性が宿る唄を気高くうたいこなしている。2008作。Fflach)

### [CD+DVD/BELGIUM, FLANDERS] PAL Region 2

※PAL方式再生可能 DVDプレイヤー/パソコンでのみ再生可能

\*RUM:1972~1978

¥2980

(ベルギーのトラッド・グループRumの72年74年75年78年発売の4枚のアルバム収録の2枚組CDとライブDVDのセット。男性3人組{4枚目では紅一点の女性ヴォーカルVera Coomansが加入}のRumは独自のヨーロッパ的格調あるヴォーカルとトラッド・サウンドを生み出している。DVDは当時の貴重なライブ映像集でアカペラから民族楽器の伴奏の彼ららしい格調高く典雅なトラッドそしてルサンス音楽風味のまで彼等の演唱が楽しめる。72/74/75/78/2005作。Universal)

### [CD/BELGIUM, FLANDERS]

\*MORAGH:Best Case Scenario

C

(Moraghはフランダースの大型ケルティック・バンド。メンバーは、Peter Ceulemans{ギター、ヴォーカル}、Marnix Polfliet{イアンプラフス、ホイッスル}、Wim Moons{バウロン}にDirk Naessens{フドル、マンドリン他}、Gunnar Van Hove{フルト}、Gert Meulemans{ベース}、Philip Measure{ギター、サートン}を加えた七人の侍。彼らが挑むのはアイリッシュをベースとしたケルティック・ミュージック。生まれた音楽は、LunasaとPlanxtyとを混ぜて、独自の音楽性を被せたカッコイイ音楽。2013作。Appel)

\*TRIO DHOORE:Madus Operandi

B

(Koen{アコースティック&エレキ・ハーモニカ・ギター}、Hartwin{アコ、ホイッスル、バグパイプ}&Ward Dhoore{ギター、マンドリン}の三兄弟による心うきうきなデビュー作。久しぶりに聞くBlowzabellaスタイルの音楽。三兄弟の音楽もハーモニカ・ギター、アコ、バグパイプを要にした楽器編成と中央フランスのダンス音楽をベースにした音楽性は、Blowzabellaと重なる。三兄弟は小編成を活かして、リズムが自由に遊び感覚とおしゃれっぽさがある。聞き流していて、気持ちが良い。2013作。Appel)

\*SURPLUZ:Dat Ik Zingen Moer!

B

(ベルギーのトラッド・バンドのSurpluzの新作。メンバーは新加入のSteven Goossens{アコ}にJeroen Knapen{ギター、ヴォーカル}、Bart Knapen{クラリネット、ヴォーカル他}、Pieterjan Van Kerchhoven{バグパイプ、サクソ、ヴォーカル}の四人編成のバンドに、さらにJonas Coleと



Hanneke Oosterlijck の男女のシンガーが加わって、パワーアップ。全曲伝統歌で、二人のシンガーの悲喜こもごもとしたソロとデュエットは心に響き。心躍る。2016 作。Appel)

\*SURPLUZ:Laat Ons Drinken! B  
(Surpluz はベルギーの 4 人組トラッド・バンド。メンバーは Elke De Meester {ヴォーカル、アコ}、Pieterjan Van Kerchhoven {バグパイプ、サクソ、ヴォーカル}、Jeroen Knapen {ギター、ヴォーカル}、Bart Knapen {クラリネット、ヴォーカル}。メンバー全員がヴォーカルも達者で、意気揚々としたシンキングとたっぷり躍動感のあるダンス音楽は、一気に気分を高揚させる。ダンス気分も最高。2012 作。Wild Boar Music)

\*NOVAR:Emelald B  
(Aurelian Claranbaux {アコ}、Thierry Nouat {ハーモニカ、ギター}、Toon Van Mierlo {バグパイプ、サクソ、アコ}、Jeroen Geerinck {キーボード、マンドリン} の四人組が奏で上げる音楽の何と粋でかっこよくて心地よいこと！全曲 Toon Van Mierlo の作曲で、アコ、バグパイプ、ハーモニカ、ギターが織りなす音楽は、いわば Blowzabella 風だが、「皆が好きな音を奏でながら合わせたらこんな音楽になった」という印象の自然体の清々しくて気持ちの良い音楽。様々な涼風が感じられる音楽。2016 作。Appel)

\*AURELIA:La Creation Du Monde B  
(夢幻的ヴォーカル・ミュージックの可能性を追い求める女性シンガーの Aurelia {Dorzee} の本作は、不思議な夢世界音楽。その夢世界は西アフリカ音楽的夢世界。Aurelia の空かけるフィドル演奏とギター名手、Tom Theuns の微細で多彩な乾いたギター演奏、そしてパーカッション奏者の Serigne Cm Gueye の多彩なリズム演奏が不思議な夢世界音楽を創る。感性優先の音楽だが、魂を揺すられるような根源的な何かが感じられる音楽でもある。2012 作。Home)

\*FARAN FLAD:Maiden Voyage B  
(デビュー作。2010 作。Wild Boar Music)

\*NARAGONIA:Janneke Tarzan B  
(Pascal と Toon の二人組時代の Naragonia の 2 枚目。アコと吹奏楽器の組合せでリズムカルに編まれた音楽は詩情豊かでダンスブル。最愛聴盤。2007 作。Appel)

\*BALLADEUS:Snikheet B  
(男性五人組トラッド・グループ "Balladeus" の本作は伝統曲と主にヴォーカルの Rufijn De Decker の作詞作曲のバレットを時代背景や音楽性に応じた様々なスタイルのフォーク・ミュージックで演唱したアルバム。楽器編成はハーモニカ、ギター、アコ、クラリネット、バグパイプ、ギター、チェロ、ホイッスル、コントラバス、タンバリンなど。2009 作。Wild Boar Music)

\*BRADYAGA:Promesses B  
(Bradyaga は Naira Mnoian と Lola Waters の二人の個性的な女性ヴォーカルをフィーチャーした 6 人組。二人のシンガー醸す雰囲気は独特。大人の女性の落ち着いたムードがハミングを含めて魅力的で全編独特なムードの中で展開する。音楽的にはジプシー&クラシック的なものがベースで東欧っぽさやフレンチ・トラッドっぽさも。一度この魔力に取りつかれると病み付き。2005 作。Home)

- \*WOUTER VANDENABEELE: Chansons Sans Paroles B  
 (Ambrozi jn のヴァイオリン奏者で作曲家 W. Vandenabeele の唄なしの唄。  
 演奏のみでうたわれた物語。Soetkin Baptist の妖精スキットはある  
 が...。陰影に富み湧き出す感情を押し殺したような泣きのヴァイ  
 リンは叙情的かつ詩的。どこか北歐的でメロコリックな音楽。2007 作。Home)
- \*AMBROZI JN: 10 ¥1500  
 (フランク・ス屈指のトラット・バンドの結成 10 周年記念ライブ。Ambrozi jn  
 {Tom Theuns, Wouter Vandenabeele, Wim Claeys} がベルギーとフランスか  
 ら招待したゲスト・シンガーは Gabriel Yacoub, Vera Coomans, Soetkin  
 Collier, Sylvie Berger, Ludo Vandeau。フロント・ルとその周辺の音楽  
 を賛美するような音楽構成は祝祭ムードを放つ音楽として身を結ん  
 でいる。2007 作。Home)
- \*LAIS: Dorothea D  
 (ご存知人気の女性ヴォーカル・トリオの 2001 年作。ヴォーナス曲“Le Grant  
 Vent” {アパハラヴァージョン} 付。2001 作。Virgin)
- \*LAIS: Victime D  
 (ご存知人気の女性ヴォーカル・トリオの 2004 年作。CCCD {コピー禁止 CD}。  
 Virgin)

### [DVD/HOLLAND] PAL Region 2

- ※PAL 方式再生可能 DVDプレーヤー/ハードディスクで再生可能
- \*YGDRASSIL: Live At The Folkwoods Festival 2006 ¥2980  
 (Linda Nijland&Annemarieke の女性シンガーの二人にギター、アコ他の  
 Bert Ridderbos の三人組による 17 曲ライブ。CD“Easy Sunrise”その  
 ままのブリティッシュ・フォーク的世界。“Cruel Sister”, “The North Star  
 Grassman And The Ravens”, “Motorcycle Mama” {Neil Young 作} 他。  
 2007 作。Teal Harm)
- \*FLAIRCK&CORPUS: Circus Hieronymus Bosch ¥2980  
 (2002 作。Alpha Centauri Entertainment)

### [CD/HOLLAND]

- \*YGDRASSIL: Easy Sunrise ¥1500  
 (女性二人のヴォーカル・デュエットをフィーチャーしギター、ベース等の Bert  
 Ridderbos が伴奏の三人組。全て英語で一言で言えばブリティッシュ・フォ  
 ーク・タイプなのだが、二人のヴォーカルとデュエットから生まれる世界は本作  
 の最後を飾る曲 Sandy Denny 作の“The North Star Grassman And  
 The Ravens”的で、陰影の中にかすかな光りが感じられる独特な世  
 界。全 14 曲。2005 作。Rounder Europe)
- \*TJANE: Mark C  
 (澄んだ Silvie のシンキングに清々しいフォーク・ロック・サウンド。全曲トラット {又  
 はトラットの歌詞に曲を付けたもの} だが、歌詞の内容も純朴なもの  
 ばかりで気分はすっかり「春」の気分。健やかなフォーク・ロックだ。2005 作。  
 Frea)
- \*GERARD VAN MAASAKKERS  
 : Komt Er Mer In/Vur De Wind/Onderwege D  
 (オランダのトラット/フォーク・シンガー Gerard の 1 枚目～3 枚目が 2 枚組み四

つ折リジヤにて復刻。この時代彼ののアルバムは上品なヨーロッパ情緒漂うアコースティックなサウンドと彼の愁いのある澄んだ唄に心洗われる。  
宝物。78/80/82/2003 作。Stoof/Munich)

### [CD/GERMANY]

- \*CARA:Live C  
(二姫三太郎のケルティック・バンドの Cara~Gudrun Walther {ヴォーカル、フィドル、アコ}, Kim Edgar {リード・ヴォーカル、ピアノ}, Hendrik Morgenbrodt {イリアン・イブス、フルート、ホイッスル}, Jurgen Treyz {ギター、トブロー、ヴォーカル}, Rolf Wagels {ハープ} ~の結成 15 周年記念ライブ盤。録音は 2017 年に行ったツアーからの選曲で、驚くのは 2014 年から Cara のメンバーとなったイリアンパイプス奏者 Hendrik Morgenbrodt の存在感の大きさ。アイリッシュのメドレーなどのインスト曲のほとんどで彼の緩急自在なプレイがフィーチャーされていて、実際に大物バンドの風格を誇っている。インストと唄ものは半々で、Kim Edgar のソロ又は Kim & Gudrun の女性デュオで、ケルティックに美味な唄でうっとりさせる。2018 作。Artes)
- \*LITHA:Dancing Of The Light A  
(Litha は Cara の Gudrun Walther {ヴォーカル、フィドル、アコ} と Jurgen Treyz {ギター、トブロー、ヴォーカル} に Aaron Jones {ヴォーカル、ベース、ギター} & Claire Mann {フルート、ホイッスル、ヴォーカル} の四人組。曲目はアイリッシュが半数近くで、バランスの取れた演奏とシンギングは、アイリッシュをベースにしつつ、音楽をさらにハイレベルな域にまで高めている。2011 作。Artes)
- \*OUGENWEIDE:Ungezwungen A  
(77 年作。P24 のブックレット付 77/2007 作。Bear Family)
- \*OUGENWEIDE:Fryheit/Ousflug A  
(78 年作“Fryheit”と 79 年作“Ousflug”の“2 on 1”。P44 のブックレット付。78/79/2007 作。Bear Family)
- \*OUGENWEIDE:Ja-Markt/Noch Aber Ist April A  
(80 年作“Ja-Markt”と 81 年作“Noch Aber Ist April”の“2 on 1”。P44 のブックレット付。80/81/2007 作。Bear Family)

### [CD+DVD/BRETAGNE] PAL Region 2

- ※PAL 方式再生可能 DVD プレーヤー/パソコンでのみ再生可能
- \*DAN AR BRAZ:Frontieres De Sel ¥2980  
(CD と DVD セットのブック型特殊豪華パッケージ。CD は 2005 年のライブ 5 曲に 2001 年作の“La Memoire Des Volets Blancs”から 3 曲そして 2003 年作の“A Toi Et Ceux”から 2 曲の Dan のエレキギターが輝く彼らしい美しいフォーク・ロックが全 10 曲。155 分。2006 作。Pathe)

### [DVD/BRETAGNE] PAL Region 2

- ※PAL 方式再生可能 DVD プレーヤー/パソコンでのみ再生可能
- \*ALAN STIVELL:Alan Stivell ¥2980  
(豪華な内容。フィルムとコンサート 2 本立てで、“フィルム”は A. Stivell のベスト音楽からアイルランドの旅と共演 {Matt Molloy, Dubliners, Paddy

Moloney, Liam O'Flynn, Brenda Mayock それにロック・バンドの Simple Minds 等との共演]のドキュメンタリーで47分。"コンサート"は2000年の野外フェスティバルのライブ。こちらは50分。2000作。Arte Video)

### [CD/FRANCE]

- \*NOLWENN ARZEL: La Harpe De Bretagne - Strewiñ C  
(両親がブルターニュの出身で、ご本人はパリ生まれのケルティック・ハープ奏者の Nolwenn 嬢のソロ。彼女にとってブルターニュの伝統音楽は夢の音楽。彼女はブルターニュの伝統音楽の個性的な民俗性を保持しながら、独自の夢感覚の色を輝かせて、幽艶で優艶なハープ・ミュージックを創作する。2014作。Coop Breizh)
- \*BROTTO LOPEZ SEXTET: La Ronda Dels Viatges B  
(Rosina de Peira e Martina の時代から時を経て、若々しいオクタヴのトラッド・バンドの登場。ヴォーカルは Guillaume Lopez と Lolita Delmonteil-Ayral の男女の二人。唄はこの二人が掛け合うスタイル。双方とも南欧的なトラッドの香り立つシンギングだ。三曲目の"Quando io eri hilha a marider"は Rosina de Peira e Martina もうたっていたが、伝統性の内で、新たな命を吹き込んでいる。世界クラス。2014作。Camom)
- \*ALAN STIVELL: Au-Dela Des Mots B  
(英題"Beyond Words"。w. Ronan Le Bars {イリアン・ハープス}, David Hopkins {ハークション}。2002作。Keltia III)
- \*ALAN STIVELL: Emerald B  
(2009作。Keltia III)
- \*HIKS: Operation Malicorne B  
(Hiks はブルターニュの五人組ロック・バンド。しかし実態は Gabriel Yacoub with Hiks。この組み合わせはもの凄い。トラッド・シンガーの Gabriel の魂とロック・バンドの Hiks の魂との魂と魂のぶつかり合いから生まれる音楽の底知れぬパワーは、本当にもの凄い。2014作。Aztec Musique)
- \*CECILE CORBEL: La Fiancée D  
(Cecile Corbel の「花嫁」と題された五枚目。2014年の秋にフランスの Polydor からのリリース。弦楽四重奏を伴った本作は Keltia Musique の"Songbook"路線とは一線を画す、例えば、カナダのロリーナ・マッケニット路線の「ケルト」を増幅させたファンタジック・ミュージック。Cecile は元々そうした要素を多分に持っていたが、ここに来て、「伝統的ケルト」のしがらみを取り去って、Cecile が夢描く「ファンタジック・ワールド」を存分に音楽化したという印象。音楽の内容は「情熱的な愛の物語」らしい。2014作。Polydor)
- \*CECILE CORBEL: Songbook Vol. 2 A  
(デビュー作で創作したオリジナルなブルターニュ発ケルト音楽は本作において、ひとつの絢爛な完成を見せている。音楽はきらびやかな光沢を放ち、セシルの小悪魔的ヴォーカルはさらに魅力的で、セシルのハープは様々な表情で躍動しながら光を放ち流れる。シンガーとして、ハープ奏者として、世界レベルのケルト風味音楽を実らせている。Loreena McKennitt ファン必殺。2008作。Keltia Musique)

- \*SOLDAT LOUIS:Kingdom Tavern B  
 (ブルターニュのケルティック・ロッカー、Soldat Louis {ウォーカル、エレキ&アコースティック・ギター、バシジョー}の本作は、まるでブルターニュ流米国西海岸ロック。ケルト圏のロック・バンドの中でも、Soldat Louis と彼のバンドは若々しさとガッツで群を抜いている。ヤッホーの一枚。2013 作。Coop Breizh)
- \*DOMINIG BOUCHAUD:Vibrations Harpe Celtique B  
 (ブルターニュのハープの第一人者のブルターニュのトラッドを中心にしたケルティック・ハープ集。全 17トラック。Keltia Musique)
- \*DOMINIG BOUCHAUD:L'anore d'argent B  
 (ブルターニュのハープの名手が全霊を傾けた珠玉のブレトニッシュ・ハープ音楽。古来から伝わるブルターニュのハープ音楽の優美さや気高さがじわりじわりと身に沁みてくる。セクト・ハープ担当でシガーの Ann Auffret の3曲のシンキングの見事さは言葉で言い表せぬほど。英語詳細曲目解説付。全ハープ愛好家必聴。全 20 曲。2002 作。Keltia Musique)
- \*ANNE DE BRETAGNE C  
 (ハード・カバー装丁の2枚組。副題“Le Rock Opera d'Alan Simon”。全曲 Alan Simon 作詩作曲の中世ブルターニュの歴史絵巻物語。参加ミュージシャンが豪華。Cecile Corbel, Fairport Convention, Chris Leslie, Tri Yann, Didier Squiban, Pat O' May 等等。全 30 曲。色鮮やかに描かれた P48 の歴史絵巻ブックレット付。2009 作。Babaika)
- \*EVELYNE BELINE GERARDON:La Fontaine Troubleee C  
 (元 La Bamboche の Evelyne のソロ。本作はむしろ同時代を生きてきた Malicorne の核の音楽を志向する真摯なフレンチ・トラッド・アルバム。Evelyne のシンキングは伝統歌本来のシンキング・スタイルに身を預けたスタイルで古風で優雅。w. Jean Blanchard {元 La Bamboche}, Soig Siberil, Gilles Chabenat, Jeremie Mignotte, etc. 全 18 曲。2011 作。Compagnie Beline)
- \*MUSIQUES DE BRETAGNE B  
 (副題“New Recording Of The Great Airs Of Brittany”。Cecil Corbel, Red Cardell, Gwalarn, Louis Capart, Gilles Servat, Anne Auffret, Pat O' May 等ブルターニュのトラッド・ミュージシャン達の音源から全 17 トラック。2011 作。Keltia Musique)
- \*MALICORNE:Concert Exceptionnel Aux Francofolies De La Rochelle B  
 (Gabriel&Marie Yacoub, Hughes De Courson, Laurent Vercambre, Oliver Kowalski のラインナップの Malicorne の 2010 年のライブ盤。Gabriel & Marie Yacoub がウォーカルに入ると気高く優美な Malicorne サウンドに変幻。圧巻！2010 作。Sony Music)
- \*GABRIEL YACOUB:Bel (1990 年作。Boucherie) B
- \*GABRIEL YACOUB:De La Nature Des Choses B  
 (美意識に裏打ちされたある種妖氣的詩的世界。2008 作。Roseau)
- \*LA BAMBOCHE:La Saison Des Amours(1978 作。Spalax Music) C
- \*SOLDAT LOUIS:Happy... Bordee 20 Ans C  
 (結成 20 周年記念ライブを収録した二枚組盤。ウォーカル&ギターの Soldat Louis 名義のアルバムだが、実質的に7人編成ケルティック・ロック・バンドとして、いわばブルターニュの Runrig のような存在で、ブルターニュ版 Runrig 的音楽

- を勇猛果敢に創作する。孤高のケルティック・ロック。2009 作。Coop Breizh)
- \*LOUISE EBREL:Ma Zad Ma Mamm B  
 (「何だばあさんか」と馬鹿には出来ぬ。Louise ばあさんのうたうブルターニュの伝統歌の数々は血統書付のブルターニュ・トラッド。その濃度はかなり濃い。そんなブルターニュ色濃い伝統歌を毅然とシンキングし、軽妙にリリテイングしたりもする。ブレトン・トラッド・シンキングの真髄。2010 作。Keltia Musique)
- \*FLORENCE PAVIE, YANN-FANCH KEMENER, ALDO RIPOCHE B  
 :Dialogues  
 (ブレトン・トラッド・シンガーの最高峰の Yann がチェロ奏者 Aldo とピアノ奏者の Florence による厳かな空気の音楽の中でブレトン・トラッド・シンキングを極めた Yann の円熟したシンキングが素晴らしい実質的に Yann のソロ・アルバム。極上のブレトン・トラッド・シンキング・アルバム。2006 年録音。Buda Musique)
- \*MICHEL TONNERRE:Quinze Marins B  
 (海の男の荒くれフォーク・ロック。酒でつぶれた？トスの利いたガオーカと共に海辺の安酒場へ。海の男達の自慢話とロマの世界。バックが充実してるのにバック・ミュージシャンに関する何のクレジットもなし。2007 作。Keltia Musique)
- \*MARIE DE MALICORNE C  
 (Malicorne のガオーカで Gabriel の奥方 Marie のベスト盤。収録曲は 1975 年～2005 年。ボーナス曲 1 曲を含む 15 曲。Malicorne での Marie の存在の大きさがわかる。2005 作。Roseau)
- \*JEAN-MICHEL VEILLON-YVON RIOU B  
 :Pont Gwenn Ha Pont Stang (95 作。Gwerz)
- \*JOAN FRANCES TISNER:12 Receptas De J. A. Lespatlut B  
 (オクタンニアのガエラン・トラッド・シンガー兼フォーク研究家の 2 枚目。オクタンニアのトラッド・シンキング & アカペラの特異さ＝魅力を奔放な音作りで浮き彫りにする。音作りは斬新ながら、ちゃんとオクタン特有のエスニックな「音」が散りばめられている。P28 のブックレット付。2004 作。Menestres Gascons)
- \*ALAN STIVELL:Telenn Geltiel～Harpe Celtique C  
 (64 作。Dreyfus)
- \*ALAN STIVELL:Trema'n Inis (76 作。Dreyfus) C  
 \*ALAN STIVELL:Terre Des Vivants (81 作。Dreyfus) C  
 \*ALAN STIVELL:Harpes Du Nouvel Age (87 作。Dreyfus) C  
 \*ALAN STIVELL:Journee A La Maison (89 作。Dreyfus) C  
 \*ALAN STIVELL:Brian Boru (95 作。Dreyfus) C  
 \*ALAN STIVELL:1 Douar (98 作。Dreyfus) C  
 \*ALAN STIVELL:Back To Breizh (99 作。Dreyfus) C
- \*ROSINA DE PEIRA:Sul viú - Gospel d'Oc a  
 (オクタンニアのトラッド・シンガーの Rosina の 2003 年作。教会でのライブで全くの無伴奏。オク語による Rosina 独特な節回しは豪快で繊細で優雅で神聖。2003 作。Rosina de Peira)
- \*MARC ROBINE:Dulcimer a  
 (フランスのマウンテン・タムナー奏者でシンガーの編集 CD。全 18 曲。録音は 1977～99 年。Buda)

\*BARRIO CHINO: Mediterra Nostra B  
(マルセイユの地中海バンド。アラブ=地中海音楽からキューバ音楽まで、それぞれの民俗音楽的要素をより濃厚に強調したエキゾチックなバンド。  
2001作。Tinder)

\*GARGOUILLES: Sur Le Bord Du Cote B  
(ブルターニュの男性4人組。Gabriel Yacoubスタイルの Christian Gattepaille のヴォーカルをフィーチャーしたアカペラからロックそしてクリスマス・ジャズ風まで。ゲスト: Gabriel Yacoub。2000作。Coop Breizh)

#### [CD/SWITZERLAND]

\*SWITZERLAND - Archive Of Folk Music C  
(副題"Collection Constantin Brailoiu {1927-1951}。スイスのサントゥールというカホン・タム・タム・の姉妹楽器のハックブレットの奏者 Constantin Brailoiu の名演奏集。全65曲収録。英語解説書付。DVDケース仕様。  
2009作。Disques VDE-GALLO)

#### [CD/BASQUE]

\*OSKORRI: Landalan (Elkar) D

\*OSKORRI: Hi Ere Dantzari (Elkar) D

\*BENITO LERTXUNDI: Benito Lertxundi ¥2800  
(一枚目。Elkar 盤。KD-47/48)

\*BENITO LERTXUNDI & EUSKADIKO ORKESTRA SINFONIKOA: D  
To Beni (1998作。Elkar lanean)

\*GANBARA: Buhamien Balleta (Elkar)

\*ERRAMUN MARTIKORENA: Olerkarien Oihartzun D  
(バスクのSSWのErramun Martikorenaの1993年作。Erramunはバスクの伝統歌のスタイルを受け継ぐSSWでフォーク・シンガーで、男性だが、高音の声で、悲喜こもごも感の感じられる唄を爽やかに、時に愁いも感じさせつつ優しく吟ずる。当時のバスク屈指のフォーク/トラッドの演奏家がバックアップ。1993作。Elkar)

#### [CD/PORTUGAL]

\*DULCE PONTES: Peregrinacao ¥2690  
(「ずっと伝統的なファド熱愛者」と語るファド・シンガーの Dulce Pontes の豪華三つ折りパッケージの二枚組。聴くなり大物の器のどっしりとして、愁い感のあるヴォーカルに圧倒される。心が「ファド」だからだろう。音楽的にはファドというスタイルを超えて、民俗音楽や古楽や地中海音楽など万華鏡的に様々な音楽性を内包した音楽の中で、歌姫の Dulce は聖と俗が入り交じったような唄を地中海を自由に飛ぶカモメのようにおおらかにうたう。すべてがずば抜けている。そんな中で聴くギターの弾き語りによるファド・スタイルの唄が何と心に響くこと！2017作。UAU)

\*CRISTINA BRANCO: Post-Scriptum/Mumurios ¥2800  
(独特な感性を持つファドの歌姫 Cristina Branco の“Mumurios” {1998年}と“Post-Scriptum” {2000年}の二枚組。発売当時、二枚ともにタムボリンのベストセラー。2002作)

- \*SEIVA: SEIVA C  
 (ファドが陰だとすると、Seiva の音楽は陽。Joana Negrao {ガ イタ、ハﾟ-カッショ ン}、Vasco Ribeiro Casais {ギ タ-、ガバ キ-ニヨ、ガ イタ、ハﾟ-カッショ ン}、Rita Novoa {ハﾟ-カッショ ン} による音楽は、独特な大地の音を響かせ、Seiva のヴォーカルは民俗色を強めてパワフル。驚きのシンガーだ。2015 作。Galileo)
- \*JULIO PEREIRA: Midadouro D  
 (お宝発掘。1987 年録音のカラフルなポルトガルの民俗音楽。1989 作。Caramba Music)

### [CD/SPAIN & BRETAGNE]

- \*PACO DIEZ & AN TRISKELL: Castillos En El Mar C  
 (スペインのフォーク・シンガーの P. Diez とポルトガルのヴァレシオン・ハﾟ・テ ヌオの An Triskell のコラボレーション。2006 作。Several)

### [CD/SPAIN]

- \*LIONA & SERENA STRING: Sefarad C  
 (スペイン南端のカディスを拠点に活動する二姫二太郎の四人グループによる中世スペイン系ユダヤ人の音楽“Sefarad”を中心にしたアルバム。ヴォーカルは Liona Hotta。スペイン東海岸のヴァレンシア生まれの Mara Aranda の 2017 年作の“Sefarad”がアラブ＝地中海の民俗色濃厚な音楽性を打ち出していたのに対し、歌姫 Liona のゆるやかにメリスマの効いたヴォーカルと、ギター、ヴァイオリン、チェロなどの弦楽器による音楽は、きっちりと民俗色を保持した上で、地中海の潮風や中世スペイン的？優雅さが感じられるような自然体の心地よさが感じられる唄と音楽。その唄と音楽の自然な一体感とアラブ＝地中海風味な優雅さが素晴らしい。全 12 曲。2017 作。Rock★CD)
- \*MARA ARANDA: Sefarad C  
 (副題“Sefarad en el corazón de Marruecos”。スペインはヴァレンシア生まれのアラブ＝地中海の民俗色濃厚な音楽を志向し、人々の魂を揺さぶる民謡をうたう Mara の新作は、モロッコのスペイン系ユダヤ人の唄に焦点を当てた渾身のアルバム。久々に聴く Mara のアルバムだが、バンドが創作する中世スペインのアラブ音楽はエキゾチックで気高く、民俗性豊かで、魅惑的で、ゆるくメリスマの効いた Mara のヴォーカルは、最高に魅惑的で幻夢的。彼女ほどスペインの古層のアラブ的な民俗性を生き活きと音楽化出来るシンガーはいないだろう。ワールド・ミュージックとしても最高レベル。分厚い P60 のブックレット {スペイン語と英語} 付。2017 作。sgae)
- \*MIGUEL PUJADO: Canta Georges Brassens B  
 (マドリードのフォーク・シンガーの Miguel Pujado の 1992 年のアルバム。本作はフランスを代表する反体制的シャンソン歌手ジョルジュ・ブラッサンスの唄 17 曲をギターの弾き語りを中心にうたったアルバム。ブラッサンスはギターの弾き語りでうたうことにこだわったという。軽快な曲調のギターの伴奏と巻き舌の語り口



調の唄がフォーク・ソングとしてのシャンソンの味わいをにじませている。1992 作。Saga)

\*JOAQUIN DIAZ:Alta Alta Es La Luna C  
(1991 年作のセファルディー {スファルディ} 集。Saga)

\*FOLK ON CREST:Calle De La Botica C  
(Folk On Crest はケルト音楽世界の隆盛に刺激を受け、結成されたスペインはサラマンカの若いトラッド・バンド。ガリシアのムニエラなどもやったり、バグパイプやホイッスルやギターがケルティック流のサウンドを高らかに響き渡り、紅一点の Yolanda Rio がパーカッションを打ち鳴らし、ゴシのある抜群のシンキングで釘付けにする。サラマンカのフォーク・シーンに一石を投じる刺激的アルバム。2011 作。Severalia)

\*CABIELLA:Cabiella Of Sons C  
(Cabiella はカスティリア・イ・レオン州のブルゴス県の 4 人組トラッド・グループ。楽器編成は、フルト、アコ、パンテレイタ、ガイタ、ギター、パーカッション。この楽器編成に女性ヴォーカル {Eugenia Lopez} の唄。僕の耳にはケルティックな匂いを強く感じる。ガリシアのバンドと言われても、違和感を覚えない。彼らの、いわばスペイン風味のケルティック・ミュージックは、実にかっこいい。シガーの Eugenia のシンキングも風薫るシンキングで清々しい。各種楽器のアコースティックな清々しさが何とも快感。ディスクもトレイも落ち葉だらけ。2013 作。Folka)

\*MENAYA FOLK:Eclipse C  
(Menaya Folk は 6 人組フォーク・ロック・バンド。中世・ルネサンス音楽からケルト音楽そしてフュージョン音楽までのレンジでおおらかに、華麗にロックする。彼らのアプローチは 70 年代~80 年代の頃の、ヨーロッパのロック・バンドがトラッド的なものを取り込んで、ヨーロッパ風エリガントなロックを創作していた頃のフォーク・ロックを思い起こさせる。文字通り、「フォーク・ロック」という音楽の方向性が明確な分、音楽が明快でストレートに楽しめる。みんな元気良いなあ。2013 作。Several)

\*PACO DIEZ & JAIME VIDAL:Romanceando C  
(スペインの叙事詩/バラッドのロマンス集。ライヴ。ヴォーカルの Paco Diez は、中世の吟遊詩人と化し、ハーモニカ、ギター、マントリン、タンバリン、パーカッション {弦楽器の中世スペイン風味もいいが、タンバリンやパーカッション等の打楽器の中世スペイン風味もいい} を奏し、うたい、Jamie Vidal がピアノで伴奏を付ける。ホピュラーなロマンスも多いようで、口ずさむ観客も。2011 作。Severalia)

\*TAHONA:Relamidos C  
(1972 年結成で本作が 11 枚目というレオン・カスティリアの男性トリオ "Tahona" の本作のテーマは「料理への賛辞」。アコ、ヴァイオリン、ギター、リュート、各種パーカッションが南欧ムードを高める中、三人が様々なシンキング・スタイルで伝統歌を、ある時はユーモアたっぷりに、またある時は祝宴ムードたっぷりに料理して楽しませる。2009 作。Several)

\*RUAILLE BUAILLE:Ru:le Bu:le C  
(スペインの 5 人組ケルティック・バンド。アイルッシュとスコティッシュを中心に現地のヴェテラン・ミュージシャン顔負けのセッションを繰り広げ、名前から推察してスコットランド人とおぼしき Duncan Bennett {唯一の現地人} が唄心ある味わい深いシンキングを披露する。タイタニックで有名になった "John {Sean}

Ryan's Polkas”ほか全9トラック。編成はホイッスル、ガイタ、イアン・パインズ、ブ  
ズーキ、ギター、マントリン、フイドル、バウロン他。2008作。(Several)

\*TRIQUEL:Sin Hacer Na C  
(6人組ケルティック・トラット・ロック・バンド”Triquel”の豪快なケルティック・ロック。エレ  
キギター、ベース、ドラムスがタイトなロックをたたき出し、フルト、フイドル、ホイッスルが  
ケルトの風を巻き起こす。そして Juan Jose Carton のヴォーカルがまた圧  
巻。いわばスペインの Runrig。手に汗握らぬものはなし。2008作。  
Armando)

\*NOUR:Papier Mullet C  
(ハルセ川のアラブ・ムード濃厚な過激な6人組。アラブ歌謡とヒップ・ホップと  
北アフリカ音楽が合体し過激にロックしたようなワールド・ミュージック。Cheb  
Balowski のメンバーでリーダ格のパーカッション&ドラミングの Yacine  
Belahcene のヴォーカルといい、海でアラブ世界に繋がる東スペインならで  
はの異国情緒な先鋭的ロックといいすこぶるテンションが高い。ブックレットに  
もアラブ文字。2007作。Kasba)

\*XAVIER BARO:Flors De Joglaria ¥1000  
(スペインのフォーク・シンガー。カタルーニャのフォーク・シンガーの X. Baro の本作は70年代  
ブリティッシュ・フォーク・スタイルのフォーク/フォーク・ロック。Xavier は夢の旅人のイメージ  
でのトルバドールの的でエレキ&アコースティック・ギター、ベース、オルガン、ピアノによる甘  
味ある優美なフォーク/フォーク・ロック。教会風オルガンや甘みあるギター等が70  
年代風ブリティッシュ・フォークの夢見心地さを引き立たせ、Xavier の唄は仮  
想の夢のサウンドの中でゆったり舞う。スペインのシンガーによる耽美的  
ブリティッシュ・フォーク。2006作。Quadrant)

\*PACO DIEZ:Romances De Caballeros Y Doncellas C  
(スペインの叙事詩/バラッドのロマンス集。音楽の底に流れるのはアラブが香  
る中世スペイン音楽。Paco は巨匠 Joaquin Diaz 風柔和で気高く滑らかな  
ヴォーカルの内に汎アラブ=地中海音楽絵巻的サウンドを巧みに取り込み、  
エキゾチックな香り高いロマンス音楽をチャームに創作している。2007作。  
Several)

\*DIVERTIMENTO:Folk C  
(カンタブリアの電気的・トラット・バンドだが、ガイタとダブルリードの笛そして  
各種パーカッション等の民俗楽器から作り出される民俗的サウンドはケルト系  
からアラブ系まで汎スペイン伝統音楽的幅の音楽性を保持。民俗楽器奏  
者とロック・バンドがセッションするようなタイプの電気的・トラット。2006作。  
Folka)

\*MAR DEL NORTE:Piramide C  
(不思議な音楽。「ケルト」が大きな要素ではあるが、様々な不思議な音  
楽がモザイク模様で編み上げられた極楽音楽。フルトとティン・ホイッスルがフイ  
チャーされた曲が中心で、典雅なのから豪快なまで様々かつ色と  
りどり。2006作。(Several)

\*EDUARDO PANIAGUA:Tres Culturas C  
(副題”Three Cultures—Jews, Christian and Muslims in Medieval  
Spain”。98作。Pneuma)

\*QUARTETO MEDIEVAL DE URUENA ¥4880  
:La Lirica Sagrada En Los Trovadores  
(どっしり重いCDブック。Luis Delgado, Cesar Carazo, Jaime Munoz,

- David Mayoral が挑む中世トルガート・ル音楽。2001 作。tf media)
- \*CASTILLA D  
(カスティリアの音楽。24 曲入 2 枚組。96 作。Fonomusic)
- \*BRENGA ASTUR: Cancios Del Gochu Xabaz B  
(ケルト圏アストゥリアスからどでかいケルティック・ロック・バンド。ダイナミックなフォーク・ロック圧倒し、エキゾチック&エレガントな女性がヴォーカルで骨抜きにする。99 作。Fonofolk)

### [CD/ASTURIES]

- \*DUERNA: A Mansalva B  
(“Prau Escenariu”という国際フォーク・ミュージック・コンペティションで優勝のアストゥリアスの 6 人組ケルティック・トラッド・バンドだ。彼らが目指す音楽はオリジナリティなケルト音楽。Estefania の女だてらの、大地揺るがすパワフルなシンギングとガイタをフィーチャーした上昇気流を巻き起こすサウンドは、実に頼もしい。2011 作。Folka)
- \*CELESTINA “GA SANCHU”: Ambas (Grau) B  
(Celestina 婆さんによるアストゥリアスの伝承歌集。ヨまたは男性とのデュエットでうたわれる伝承歌の数々はぼくの耳には Joaquin Diaz がうたう他のスペインの伝承歌から伝わってくる気品ある味わいと同種のものを感じられ、音感的にはアストゥリアスという地域性を超えて、スペインの伝承歌として実に味わい深い。スペインの伝承歌ならではの品格ある味わいがたまらない魅力。全 32トラック。2007 作。Fono Astur)
- \*ASTURIAS A  
(アストゥリアスの音楽。24 曲入 2 枚組。96 作。Fonomusic)

### [CD/GALICIA]

- \*IALMA: Camiño: De Bruxelas A Santiago B  
(Ialma は Veronica Codesal, Magali Menendez, Natalia Codesal, Marisol Palomo の女性四人組ポリフォニー・コーラス・グループ。彼女達はガリシアの伝承歌の伝統を四人のコーラスで表現するが、そのソロ・シンギングとコーラスはガリシアのトラッドの香り高く極上な上に、ベルギーのトラッド系ミュージシャンを中心にした精鋭なトラッド〜ワールド・ミュージック・サウンドは、音楽的レベルも高く、充実しきっている。スコットランドから Ross Ainslie {ホイッスル} がゲスト参加。2016 作。Home)
- \*CHOUTEIRA: Folla De Lata C  
(お宝発掘。ガリシアの歌姫 Uxia をヴォーカルに据えた異色のガリシアン・トラッド・バンドの Chouteira の 2000 年の三枚目。面白いのは、ガイタやパンデレイタやアコなどの馴染みの楽器に加えて、サクソやチューバやトランペットなどの管楽器が加わっていて、イングランドなら Brass Monkey のような音作りを加えていること。このサウンドは、ケルティックなガリシアン・トラッドに耳慣れたファンには目新しく響くが、ある意味むしろ南欧〜地中海の民俗音楽的な響きでもあって、むしろ土俗性を増しているようにも感じられる。Uxia の孤高のシンギングはここでも素晴らしい。2000 作。Boa)

- \*NA LUA:As Fases De Na Lua C  
 (ガリシアを代表する歌姫 Uxia を擁したガリシアを代表するトラッド&フォーク・ロック・バンド“Na Rua”の20周年記念アルバム。既発表音源からの全18曲。ガリシア独特なケルティック・サウンドは、今聴いても鮮烈。2001作。Boa)
- \*UXIA:Estou Vivindo No Ceo(1995作。Nubenegra) C
- \*MILLADOIRO:Galicia No Tempo(90作。Discmedi Blau) B
- \*MILLADOIRO:3(92作。CBS) B
- \*MILLADOIRO:Solfafrica(ゲスト:Paddy Moloney。92作。CBS) B
- \*MILLADOIRO:Unha Estrela Por Guia(2006作。Discmedi Blau) B
- \*MILLADOIRO:Auga De Maio ¥1000  
 (購入者からの連絡で開封したところ、ブックレットを留めるホチキスがさびていました。格安にて。99作。Discmedi Blau)
- \*EMILIO CAO:Cantas Marinas(1998作。Do Fol) D
- \*BERROGUETTO:Kosmogonias ¥2880  
 (三つ折特性ジャケットのCD+DVDセット。ガリシア奏者でもある Xabier Diaz をヴォーカルに迎えたガリシアの大型トラッド・バンドの Berroguetto の4枚目にあたる本作は横綱級ガリシア・トラッド。全てのサウンドが卓越していて、美しく響き合い、他のバンドの追随を許さぬガリシア・ミュージックの王者の音楽。DVDはPAL方式で、メンバーのインタビューやバンドのライブにイメージ・フィルム等。2010作。Discmedi)
- \*BERROGUETTO:Viaxe Por Urticaria A  
 (ガリシアの最先端トラッド・バンドの Berroguetto の99年作。BOA)
- \*BERROGUETTO:Hepta A  
 (威風堂々としたオブリガナガリシア音楽。ゲスト:Kalman Balogh{ハンガリー}, Markus Svesson{スウェーデン}, Jiva Gasparian{アルメニア}。特性三つ折りジャケットCD。2001作。Do Fol)
- \*PANCHO AVAREZ:Solidos Galicianos B  
 (「一言で言えば従前の才気走った音楽作りを程よく抑えて、より自然体でよりインテリメートな感覚でさらりと演じたのが本作と言えるだろう。パンチョの音楽は枯れた味わいでは決してないけれど、この変化は良い意味での成熟を感じさせる。加えて、独特の淡さを持った美しさが全編に貫かれているのが何とも素晴らしい」「本作はアルバム・タイトルからも彼のガリシア文化への一貫した敬愛の情が伺えるが、シャカリキになって一つのテーマを訴えるというのではなく、一種の余裕を感じさせる包容力のある音楽となっているのだ」。白石和良さんの乱聴記より。2009作。Pai)
- \*MALVELA:Da Mina Xanela A Tua B  
 (Na Lua のヴォーカルでガリシアを代表するトラッド・シンガーの Uxia の共同プロデュースで、シンガーの一人として参加のガリシアとポルトガルの民衆音楽を姉妹音楽として捉え、ガリシア風であり、かつポルトガル風なのか、南欧的で牧歌的な民謡など Uxia を含めた民謡おばさん達の底力ある快活なヴォーカルと軽やかな音楽が楽しい。カヴァー・ユニットのゴコロしたサウンドがくすぐったい。2007作。Pai)
- \*DIPLOMATICO:Komunikando C  
 (ゲスト:Uxia, Susana Seivane Isaac Palacin{Berroguetto}。2003作。

Boa)

- \*FALTRIQUEIRA: Efffecto B  
(ガリアの女性4人{前作から一人減った}のヴォーカル・グループの4年振りの本作はバスクでの録音で Pascal Gaigne がプロデュース。パントレタ {片面太鼓} を叩き、澆刺と唄う彼女等の唄と音楽は若々しくカラフル。ガリアの楽士達の音楽は汎地中海音楽的エキゾティシズムを注ぎ込み、陽光降り注ぐエキゾティック・サウンド。2006 作。Resistencia)
- \*ABRAXAS: Ruina Montium C  
(1999 年結成のガリアン・ケルト系バンド。ガリアのバンドか定かではないが、Hevia, Cristina Pato, Leilia 等のガリアのハーパーやグループとの共演経験を持つ彼らの音楽はリーダ格でギター&フルト奏者を中心にギター、バソーン、ヴァイオリン、サフォニー、アコーディオン、クラリネット、フズーキ、サクソ、ベース、各種パーカッション等によるガリア音楽プラスαの音楽。2005 作。Legados)
- \*AVALON: Lua Meiga B  
(ガリアから登場の若き女性6人のケルティック・バンドのデビュー作。2000 年録音。Blau)
- \*HEVIA: Tierra De Nadie/No Man's Land ¥1500  
(ガリアではなくアストゥリアスのバグハーパーと思われるが、彼の電気バグハープとアストゥリアン・バグハープはスピリチュアルな粋まで到達している。音楽は自身のルーツを基盤にしたもので、ロックっぽい斬新な音作りや土俗的匂いを醗酵さす女性ヴォーカルの挿入等も極めて独自色を発散している。素晴らしきハーパーだ。2000 作。EMI-Odeon)
- \*LEIXAPREN: Gaitropos C  
(伝統的なトラッドを肥やしに中世音楽まで視野に入れた典雅で清々しい音楽。カリテ、フルト、ガイヤ等の笛楽器の風の流りにアコやギター、パーカッション等が軽やかに絡まる。風のように軽やかでいて、ちゃんとガリアン・トラッドの土着の音楽の躍動感や土臭さをもキープ。ゲスト: Panch Alvarez. 92 作。Sonifolk)
- \*GALICIA A  
(トラッドからポピュラー音楽、宗教歌まで全 21 曲。89 作。Fonomusic)
- \*FUXAN OS VENTOS: Sempre E Mais Despois B  
(ヴェラン・トラッド・バンドの7枚目。ガリアの根っこの愛すべき民衆音楽。必聴! 99 作。Fonofolk)
- \*CHOUTEIRA: Folla De Lata C  
(ガリア屈指のヴェラン・トラッド・シンガー、Uxia を擁する Chouteira の3rd。3本のブラスを導入した斬新な音作りによる柔軟で力強いガリアン・トラッド・アルバム。金属の袈のオマケ付。2000 作。Do Fol)  
: Iacobus Magnus (94 作。Discedi Blau) A

### [CD/ ITALY]

- \*ROSAPAEDA: In Forma Di Rosa B  
(お宝発掘。南イタリアの歌姫 Rosapaeda の 2001 年のアルバム。久しぶりに聴いて、彼女のアラブ=地中海風味香るヴォーカルと敏腕演奏家達による汎南イタリア~汎地中海音楽的にスケールの大きな民俗色豊かな音楽に惚れ惚れ。2001 作。Sottosuono)

- \*MASSIMO FERRANTE:Popolaj Kantoj C  
 (アルバム・タイトルは英題“Popular Song”。イタリア南部の音楽の復興を目指す Massimo Ferrante の新譜はまるで「素晴らしき南イタリアの音楽」。目線は常にイタリア南部の民衆音楽だが、本作はアコースティックな作りで、目線が民衆の目線により近く感じられる。まるで日当たりのよい場所で彼と仲間達が目の前で笑顔で、感嘆の声を上げながら演唱しているかのように音楽が生き活きとしていて、喜びと悲しみの唄と音楽がピンピン響いてくる。本作では Massimo の古くからの音楽仲間ナポリ古謡の大家の Daniele Sepe が各種笛の伴奏で協力。2015 作。Felmay)
- \*DARIO MUCI:Mandarari B  
 (イタリア半島南東部サレント半島の民謡の研究者でシンガーの Dario Muci の素晴らしきサレントの民謡の世界。フォーク・シンガーとしての器の大きさは、スペインの Joaquin Diaz クラス。民俗音楽としてもワールド・ミュージックとしても、極めて質が高い。2007 作。Anima Mundi)
- \*RADICANTE:Lettere Migranti C  
 (Radicante は 1996 年にパリで結成されたイタリアのフォーク・ロックバンド。メンバーは Giuseppe De Trizio{ギター、マンドリン}, Enzo Granella{ヴォーカル、ギター、チャランゴ}, Fabrizio Piepoli{ヴォーカル、ギター他}, Vittorio Gallo{サクソ}, Pierpaolo Martino{ベース、コントラバス}, Daniele Abbinante{トラムス}。地中海音楽的範囲で、民衆音楽をベースに独自の豊かな民俗音楽を創作する。2002 作。CNI)
- \*PICCOLA ORCHESTRA ZACLEN  
 :La Musica Di Carlo Brighi ‘Zaclen’ B  
 (1853 年、ローマ生まれの音楽家で作曲家のカロ・ブリギ{ニックネーム“Zaclen”}のダンス音楽はローマのクラブやダンスホールで大人気だったという。本作は彼の楽団が演奏したダンス音楽{楽譜が公共図書館に保存されていて、ワルツ465 曲、ポルカ141 曲他}を 5 人の楽師が当時の音楽を忠実に再現したもの。英語解説付。全 20 曲。Tesa Dancer)
- \*ALESSANDRO TOMBESI:Barene B  
 (1994 年生まれ若きハープ奏者でシンガーのデビュー作。ケルトのハープとは違う、イタリアはヴェネツィアの伝統音楽の土壌の上に咲いた優雅で穏やかなハープ・ミュージック。音楽的に完成度が高く、味わいが深い。2011 作。Calicanto)
- \*YO YO MUNDI:Munfra B  
 (本作は北イタリアのピエモンテにあるモンフェラートという町の歴史、文化を音楽で表現したもので、北イタリアの民族音楽として、音楽の水準が高く、また多彩な音楽はモザイク的で、かつまた全曲を通して、音楽賛歌或いは祝祭的ムードが音楽を華やかにしている。この地域のミックス文化を象徴する音楽の多彩さが実に楽しい。ゲスト: Steve Wickham {Waterboys}, Sergio Berardo {Lou Dalfin}, Filippo Gambetta, Fabio Rinaudo&Daniele Caronna {Birking Tree} 他。2011 作。Felmay)
- \*A FIL DE CIEL:Vertigo B  
 (2004 年に結成された北イタリアのトラット・グループによるオクシタニア地域の中

世から近世の伝統歌を中心にした南欧トラッド風に典雅で刺激的な南欧のトラッド・アルバム。何よりも魅力的なのはハーディ・ガデー奏者でリード・ヴォカルの Rosella Pellerino の南欧の女性シンガー特有のエキゾチックで豊かなシンギング。今日の勢いある南欧のトラッドだ。2010 作。

FolkClub EthnoSuoni)

- \*BANDABRISCA: Io Ballo Brisco B  
(1995 年結成の北イタリアの 7 人編成トラッド・バンドのデビュー作でライブ盤。楽器編成はギター、アコ、ヴァイオリン、フルート、サクソ、ベース、マンドリン、ピッコロ。彼らは本来ダンス・バンドなのだが、彼らは余興のつもりなのだろうが、実は男性トリオでのアカペラ・シンギングも素晴らしい。ピッコロやアコがリズムを取るダンス音楽は独特{このサウンドこそ北イタリアの優雅なダンス・サウンド}で、John Kirkpatrick の "Jump At The Sun" なんかも中世の街角で聞こえてきそうな楽しげなダンス音楽の趣。2010 作。FolkClub EthnoSuoni)

- \*7 KM DA GERUSALEMME C  
(Pivio E Aldo De Scalzi によるサウンド。古代神話を夢想したような音楽。アラブ的でケルト的で古代ギリシャ的かつ前衛的で現代的な万華鏡音楽。Anuna のような女性合唱があったり、男女の不思議な吟唱があったり、ケルティック・ロック風なのがあったり、神秘性を軸に音楽のスケールがでかい。画面を観て一層醍醐味ある音楽だろう。2007 作。CNI)

- \*SOFFI d' ANCIA "Decennale Del Festival "Pifferi", Muse E Zampogne C  
(10 年の歴史のフェスティバルからバグパイプ、各種ダブルリード楽器の演奏を集めた編集盤。Galicanto, Birking Three, etc. 全 21 トラック。2005 作。Radio Music)

- \*NIDI d' ARAC: Nidi d' Arac C  
\*ANGELO BRANDUARDI: Caminando Caminando (96 作。EU EMI) ¥1680

- \*ALPHABASS: T Ar Ant A Tr A Nce B  
(何とも不思議な音楽。南イタリアの音楽をサブリング多用し大改造したもののようだが、音楽だけ聴けば、アラブ音楽かと思うほど、男性ヴォカールはアラブ色濃し、打ち込みのリズムも流れるメロディーもアラブ色を帯びている。2003 作。Sottosuono)

- \*N. C. C. P. : Teatrante ¥1780  
(NCCP のベスト盤? 11 曲入。2001 作。Warner Europe)

- ※ナポリの古謡と NCCP ¥700  
(その昔当店で発行した書籍です。by ニタ村発生。1988 年発刊。田圃鈴)

- \*ARTURO STALTERI: Rings-Il Decimo Anello B  
(ピアニスト兼作曲家が「指輪物語」にインスパイアされて作曲した全曲「指輪物語」がらみのケルト風味ファンタジー音楽。イタリアでベストセラー。2003 作。Materiali Sonori)

- \*BALLATE ARCADICHE: Canzonie E Brani Strumentali Di Tradizione Celtica ¥1000  
(ケルト音楽に挑む男性トリオ。アリッシュ・トラッドの著名曲ばかりをヴォカール、ブズーキ、クラシックギター、フルート等で気品高く、ロマンティックに唄い、演奏する。イタリア産夢想ケルト音楽。全 18 曲。Arx Collana)

- \*UARAGNIAUN:Uaili (2枚目。96作。Officina&Piazza) B  
 \*VINCENZO ZITELLO TRIO:Concerto B  
 (ケルティック・ハープ 奏者 V. Zitello 率いるトリオによるライブ。ハープの持つ優  
 美さ、宇宙的深遠さを追求した彼等独特な音楽。2001作。Dunya)  
 \*SPACCANAPOLI:Spaccanapoli A  
 (Spaccanapoli はあの白熱の大衆音楽集団 E Zezi で育ったナポリの5  
 人組大衆音楽グループ。彼等の出発点は自分達固有の文化の復興。E  
 Zezi の血を受け継ぐ Monica Pinto の腹の底からの魂の唄と大地揺  
 るがずだ けミミックなトラット・サントは正に圧巻。2000作。Real World)

### [CD/MEDITERRANEAN]

- \*MARIA DEL MA BONET-AL TALL ¥2790  
 :Cancons De la Nstra Mediterrania(1992作。BMG)  
 \*MARIA DEL MA BONET:Ellas Canta M. Theodorakis C  
 (1993作。BMG)  
 \*MARIA DEL MA BONET:El Cor Del Temps D  
 (二枚組。1997作。PICAP)  
 \*MARIA DEL MA BONET:Raixa(2001作。World Muxxic) C  
 \*PAVLO:Fantasia C  
 (ギタリスト Pavlo によるマジカルな汎地中海メロディ。アラブ～  
 ラテン～汎地中海風味の全13曲。1999/2004作。Justin Time)

### [CD/SARDINIA]

- \*CADABA:Do Y Sidemol B  
 (女性3名男性6名の9人編成トラット・グループ。ガタ{ハグパイフ}3名  
 の機動力を発揮したいかにもガリア～アストリアス・タイプの高潔なダンス  
 曲からギター、ホイッスル、アコ等がフィーチャーしたしっとり叙情的、あるいは小  
 気味よい曲まで音楽のレンジが広い。ガリア～アストリアス的な民衆的な  
 情感をストレートに音楽に反映した潔さが気持ちいい。2005作。San  
 Migue)

### [CD/POLAND]

- \*WARSAW VILLAGE BAND:Sun Celebration D  
 (Warsaw Village Band の七枚目に当たる新作は二枚組。三人の歌姫  
 をフロントに立てた彼らのヨーロッパと東アジアの範囲で国境を  
 越えた独自のワールド・ミュージックは、本作でさらに勢いを増し  
 ている、感動的。土俗的な歌姫達の唄は汎大陸的な大地の響きだし、  
 民族楽器を駆使した音楽は様々な民俗性がミックスされいて呪術  
 的で妖艶。ゲスト:Mercedes Peón, Ustad Liaquat Ali Khan,  
 Sanjay Khan, Amrat Hussain。2017作。Jaro)  
 \*WARSAW VILLAGE BAND:People's Spring C  
 (2001年作。ポーランド 原盤。Orange World)  
 \*BERKLEDDY:Muzyka Nasluchana C  
 (副題"New Folk Music From Poland"。祖父から習ったという  
 Cymbaly{ハンマー・タムルマー}奏者 Andrzej Zajko の Cymbaly をフィーチャーし  
 たポーランドのトラット。エレキギターやドラムス等の6人組のバンド編成で



清涼感あるフォーク・ロック。ブックレットには Cymbaly の歴史と話{英訳} もあり。98 作。Orange World)

### [CD/SLOVENIA]

- \*MAGNIFICO:Grande Finale A  
(Balkanbeats Vol.1 に登場のイタリアの東の国スロヴェニアのジプシー・ロック・バンド。ブラス付きのロック・バンド編成でジプシー音楽とアタの強いカントリー・ロックを泥臭く混ぜこぜにした活力あるジプシー・ロック。大半の唄は英語で Magnifico のヴォーカルは野太い。不思議な感触の大胆なロックだ。2007 作。Arih)

### [CD/UKRAINE]

- \*SVITLANA NIANIO:Kytytsi B  
(三つ折りの厚紙ジャケットの左袋に CD、右袋にイラスト集、真中にブックレットという外観は安っぽくも手作りの愛情ある作りの CD。早春の香りのする Svitlana のか細く美しく自由に舞うようなシンキング それ自体がえも言われぬ魅力。全 16 曲夢の中保証。99 作。Koka)

### [CD/CZECH]

- \*BRAN:An Delienn B  
(ブルターニュの音楽の影響を強く受けた女性一人を含むチェコの 6 人組トラッド・バンド。ヴォーカルのほか楽器編成はアコ、クラリネット、ボンバルド、フルト、コントラバス、ギター、ブズーキ、パーカッション、ホイッスル。ブルターニュのトラッド・シンガーの Yann-Fanch Kemener をホフツさせる Dewi Pajot の見事なシンキングとブレトン・ミュージック風ながら、彼らならではの気高さ・典雅さとフォーク・ロックっぽいノリで風を切る疾走感と醍醐味は新鮮。2008 作。Indies)
- \*NEREZ:Jednou Mer, 2xNerez B  
(本作が 4 枚目という 4 人組。チェコ、ロシア、ポーランド、ジプシー、ウクライナ、スペインのフォーク・ミュージックの影響を受けたという彼らの音楽だが、トリジナル・メムバーでヴォーカルの Zdenek Vrestal のメルヘンティックだったり、メランコリックな SSW 的な持ち味にシンプルナリズムによる独創的アレンジで自分の世界を彩っている。2004 作。Indies)

### [CD/SLOVAKIA]

- \*FIGUR BANDA:Hungarian Village Music From Slovakia C  
(スロヴァキアのハンガリー音楽。トランシルヴァニアの活きのトラッド・バンドをホフツさせるハンガリー臭たっぷりな村の音楽。楽器編成も正統派ハンガリアン・バンド編成でオバさんの歌を含めて味わいが濃い。ブックレット収納のポケットはあるが、ブックレットはない。2002 作。Ifju Szivek)

### [CD/CROATIA]

- \*DARKO RUNDEK & CARGO ORKESTAR:Mhm A-ha Oh Yeah Da-da B  
(民俗性豊かな音楽をベースにジャズやロックやクラシック、レゲエ等ジャンルを超えた音楽で自らが流民であることから生まれた孤独感や社会的メッセージ等を唄と多様な音楽で創作力豊かに表現している。英語解説付。2006 作。Pi'ra:nha)

### [CD/BELARUS]

- \*IVAN KIRCHUK:Heritage Of The Lost Villages C  
(各種民俗楽器を駆使した Ivan Kirchuk と男性地声合唱による素晴らしいベラルーシの民俗音楽。全 33 曲。2000 作。Pan)

### [CD/RUSSIA]

- \*INNA ZHELANNAYA:Izvorot D  
(二枚組。本作で Inna と彼女のバンドは、ロシア各地の民謡を、おおよそ民謡の音楽としては常識的には考えられないほどデジタルにロック化。彼女独特な混沌として暗鬱なロシア・トラットは、スウェーデンの革新的トラットと通じ合う土俗性を持っているのは、興味深い。常に究極を目指す Inna は偉大なロシア民謡の革命家だ。ロシアの大地に永眠中の地霊や精霊達も狂い踊りしそう。2014 作。Inna Zhelannaya)
- \*COSMONAUTIX:Energija B  
(“Russian Balalaika Speedfolk” と呼ばれる男性 4 人組ロシア・フォークバンドだが、彼らのパフォーマンスを全面に押し出したサウンドとダンス的なフォーク・ロックは独特で、ロシア民謡+少々のクリスマス風の匂いをこれでもか、これでもかと振りまく。そのテンポの速さとヴォーカルの Morgan Nickolay の大上段に構えた風の唄はユーモラスでもある。元気ハツツなロシア・バンドだ。2011 作。Piranha)
- \*SARATOVSKAYA ¥2780  
(CD+DVDセット。副題“Traditional Russian Accordion Music Of The Middle Volga Region”。1860 年代からロシアのサトフで演奏されているサトフ・ダイアニック・ボタン式アコーディオンの演奏家 10 名の演奏を収録した 40トラック収録 CD。2010 作。Pan)
- \*FARLANDERS:Farlanders B  
(Farlaners の 2 枚目。角笛、バグパイプ、クラリネット等吹奏楽器が全面に出た彼等独特な土俗の音楽は圧巻。1998 作。ドイJaró)

### [CD/GEORGIA]

- \*GEORGIAN FOLK SONGS ¥1580  
(ゲルジアのフォーク・ソング集。全 17 曲。合唱を中心にヴォーカルの魅力が多彩。94 作。ポルトガルSound Of The World)

### [CD/BULGARIA]

- \*EUGENIA GEORGIEVA:Po Drum Mome/A Girl On The Road B  
(久しぶりに聴くブルガリアン・ヴォイス。Eugenia はブルガリア中部のプロヴディフという町出身のブルガリア民謡歌手。彼女は母親の故郷の Blazhievo という山麓の村の民謡に親しんで育ち、子どもの頃、村祭りでうたったという。久しぶりに聴くせいもあるかも知れないが、昔聴き親しんだカヴァル、ガドゥルカ、タンブーラ、ダブルベース等によるブルガリアの伝統的なサウンドと軽やかにコブシの利いた、時折虹色の輝きを帯びる Eugenia のブルガリアン・ヴォイスは、山裾にそよ吹く風のように気持ちよく感じられる。Eugenia の頭の中もおそらく母親の故郷の風景や村祭り

の風景が広がっているに違いない。心はブルガリアの村へ。  
2018 作。Riverboat)

- \*BISSEROV SISTERS: Music From The Pirin Mountains B  
(収録曲 33 曲。1990 作。Pan)
- \*ORATNITZA: Oratnitza B  
(ブルガリアの音楽というとブルガリア・ヴォイス等女性がヴォーカルを中心に素の「民謡」が多かったが、彼らは異色。ブルガリアの民族のメロディーとリズムを発掘し、勢いある彼らのフォーク・ミュージック/ワールド・ミュージックを創作している。音楽に向かう姿勢も音楽も北欧の先鋭トラッド・バンドに通じるところがある。2012 作。Fusion Embassy)
- \*BULGARIAN MUSICAL FOLKLORE a  
(by "Svetoslav Obretenov" Bulgarian National Choir。全 22 曲。91 作。Gega)
- \*BULGARKA: Vocal Trio (89 作。Balkanton) a

### [CD/HUNGARY]

- \*META: Betoltse Szivedet... C  
(副題 "Hungarian Folk Music"。Marta Sebestyén & Muzsikás の影に隠れて存在感が薄かった Meta だが、Salaman Beata と Nemeth Ferenc の二人のシンガーと Muzsikás スタイルの音楽は圧巻。2001 作。Folk Europe)
- \*MESZECSINKA: Meszecsinka C  
(アヴがかった Makam & Kolinda に初期 Kolinda 時代のエネルギー + α を注入したかのような物凄い土着的エネルギーに満ちたフォーク・ロックだ。というのが前半。6 曲目の "Kuku" という民謡風の唄から傾向が変わる。7 曲目は前半と同じ傾向だが、8 曲目以降最後 11 曲目まで、今度は音楽がシンプルかつスローになり、Annamaria の唄が魔性を帯びる。ミスマの利いた悠久のヴォーカルが素晴らしい。圧巻。2012 作。NarRator)
- \*MAKAM: Sindbad B  
(Lovasz Iren がヴォーカルの Makam の 2005 作。Z Paravan Kiado)
- \*MAKAM: Akom Bakom B  
(Makam の本作は子供向け。ジャケットもブックレットも幼稚園の子が描いたようなクレヨン画。音楽は手抜きなしの魅惑の Makam サウンド。2006 作。Hangveto)
- \*MAKAM: Zarandokenek (2008 作。Z Paravan Kiado) B
- \*ORFEO: Zeneszecsoport B  
(Kolinda 結成前の Kolinda のメンバー達の貴重な音源集。Kolinda はデビュー時から、ロック・ファンにも衝撃を走らせた完成品以上の完成品だったが、本作では、Kolinda 前夜の完成音楽、ハンガリー伝統音楽等が聴ける。試行錯誤時代の Kolinda と Kolinda の姉妹グループの Vizonto の興味深い魂震わす演唱だ。全 22 曲。P62 のブックレット付。2011 作。KOKE-001)
- \*KORPAS EVA: Szerellem, Szerellem B  
(英題 "Love, Love"。Primas Parade, Tukros Band, Lakatos Robert などのアルバムで麗しのヴォーカルを披露しているトラッド・シンガーの Eva のソロ。本作は、ジャズ風味のハンガリアン・トラッド。Eva のイグニッションで独特な麗しさは不思議な安らぎ感がある。Muzsikás 系でも Makam 系でもな新

感覚の魅惑のハンガリアン・トラッド・アルバムだ。全 18 曲。2010 作。  
FolkEuropa)

- \*BOGNAR SZILVIA:Csintekerinto B  
(Szilvia の本作はハンガリアン・トラッド・ミュージックの新たな魅力を教えてくれる魔法の音楽。Szilvia の目線は子ども。だからこそ、Szilvia のシンギングは柔らかく優しいし、各種民俗楽器 +  $\alpha$  による音楽はハンガリアン・トラッドのサウンドで自由に絵を描くように彩る。ムルハツクなジャケット意匠もブックレットもデザイン賞を上げたいほど。ボーナス・シングルCD 付。2011 作。Gryllus)
- \*BIRO ESZTER:Zeneim 2000 - 2006 B  
(Biro Eszter が自分のバンド Biro Eszter Quintet を結成する以前にソロ・シンガーとして活動していた時代の音源の編集盤。唄はハンガリー語と英語の両方で、音楽はラスト収録の一曲 "Outro" 以外はハンガリー色はなく、大型ポップ・ロック・シンガーのレベルの魅惑の今日の音楽。P20 のブックレットの各ページが Biro Eszter 写真集のよう。トラッド系シンガーとして再出発する前に一時代を築いていたことを証明する華やかな編集盤だ。歌唱力は疑いなくワールド・クラス。+ 容姿も。2006 作。Miss Biro)
- \*EKTAR:Kontrapunkt C  
(Ektar はあの Toth Evelin がヴォーカルの七人組。ある種 Evelin のヴォーカルというかシンク というかスクットは究極の追分的。音楽は Makam の音楽エッセンスを抽出したこのようなエキゾチックでスピリチュアルな音楽。全編、サーラングが発するアラブ情緒がお香のようにゆらゆらと立ち昇り、Evelin の魂の唄はまるで宙に浮く羽毛のようで、風や光に感応し、唄を発しているかのよう。2010 作。Folk Europa)
- \*TEKA:Wildflowers C  
(副題 "Hungarian Village Music"。Sebestyén Marta with Muzsikás を彷彿させる Tarnoki Beatrix with Teka の気高く、凛として美しい Beatrix のシンギングとハンガリアン・トラッドの土俗的な音楽を追求しつつ創作力豊かな音楽は躍動感と勢いがみなぎり魅力的。ハンガリアン・トラッドの王道をゆく頼もしいバンドだ。全 18 曲。2010 作。Teka)
- \*DUTAR:Idegen Vendeg C  
(次世代のスケールの大きなバンド。一曲目のまるでヴァルティケを想わず遊び唄のような快活な TEMPO の Csoké Renata のヴォーカルとハンガリーの民俗楽器を駆使したエキゾチックに熱く大地の音をたたき出す音楽に圧倒されたあと自由自在に舞うような Renata のヴォーカルと民俗音楽を超えた即興の音楽とが一体化したハイレベルなハンガリー発の音楽を展開する。2008 作。Fono)
- \*VIKTORIA HERENCZSAR:Geza Allaga - Hungarian Cymbalum Concert (92 作。Quintana) C
- \*GAZSA:From Budapest To Kommando C  
( "Gazsa" のニックネームで知られる 1980 年代のトランシルヴァニアのフォーク・リヴァイヴァルの著名フィドラーの István Papp Gazsa 率いる Gazsa の多彩なフィドルが舞うハイレベルなハンガリー音楽。英語解説付。2003 作。FolkEuropa)
- \*POLGAR LILLA:Szeretet Probaja C  
(小鳥の囀りの Polgar 嬢による美しく清々しいハンガリアン・ヴォイスの響

き。無伴奏や一人デュエット等も挟みながらハンガリー風コフシ翻る美声が森を駆け抜ける。2002 作。Etnofon)

\*BEKES BANDA: Zsok・Joc C  
(副題“Romanian Village Music from Hungary”。1978 年結成のヴェ  
テラン・トラット・グループによるハンガリー南東部のルーマニア音楽。英語解説付。  
2001/2004 作。Etnofon)

\*NINCS PUSZTINA BEKERITVE D  
(2 枚組。副題“Hungarian Moldavia’s Celebrations and Everyday  
Life”。クリスマス・ソングや婚礼歌や兵士の歌や季節の歌や葬儀の歌や  
子守歌やもちろんダンス音楽等などタイトル通りの Katalin&Erzsebet ば  
あさんふたりの生きた民衆音楽集。英語解説付。2005 作。Etnofon)

\*MOHACSY ALBERT・NAGY ZSOLT: Tizenket Banda C  
(Meta のメンバーの Mohacsy {ダブルベース、チェロ} と Nagy {フイドル} がゲストを  
迎えて共演したもの。共演者は Meta をはじめ Muzsikás, Bekecs,  
Galga, Teka, Tukrus, Galga, Uszturu, Fono, Csik, Berka のグループの  
メンバーやツィンパロン名手 Balogh Kalman 等など。2004 作。FolkEuropa)

\*MUZSIKAS・SEBESTYEN MARTA: Hazafele (96 作。Gong) C

### [CD/BELARUS]

\*KRIWI: Past&Present C  
(ベラルーシのトラット・バンド。北欧のサーミののような呪術性にウクライナの騎馬  
民族的躍動性にアラブ風変拍子多様な魔性にヨーロッパの中世音楽の祭  
祀性と優美性等多様な音楽性は底知れぬ深さ。他の国のトラット・バンド  
とは比較できない魔力と魅力がある。1998~2003 年の収録曲か  
らの編集 CD。2004 作。Orange World)

### [CD/KLEZMER, GYPSY, BALKAN 他]

\*LIONA & SERENA STRING: Sefarad C  
(スペイン南端のカディスを拠点に活動する二姫二太郎の四人グ  
ループによる中世スペイン系ユダヤ人の音楽“Sefarad”を中心  
にしたアルバム。ヴォーカルは Liona Hotta。スペイン東海岸のヴァ  
レンシア生まれの Mara Aranda の 2017 年作の“Sefarad”がアラブ  
=地中海の民俗色濃厚な音楽性を打ち出していたのに対し、歌姫  
Liona のゆるやかにメリスマの効いたヴォーカルと、ギター、ヴァ  
イオリン、チェロなどの弦楽器による音楽は、きっちりと民俗色  
を保持した上で、地中海の潮風や中世スペイン的？優雅さが感じ  
られるような自然体の心地よさが感じられる唄と音楽。その唄と  
音楽の自然な一体感とアラブ=地中海風味な優雅さが素晴らしい。全 12 曲。2017 作。Rock★CD)

\*KRIES: Selo Okuke / Village Tracks B  
(Kries はクロアチア方言で「たき火」の意の Kries をバンド名にし  
たクロアチア人、ハンガリー人、ボスニア人、スロヴェニア人から  
成る七人組バルカン・バンド。これはメチャ凄い。Brian Eno や  
Velvet Underground からヒップホップまでの音楽幅で影響を受  
けたという彼らのバルカン音楽は、その精鋭性が功を奏して、ル  
ーツ志向の比類のないバルカン音楽を体現しきっていて、圧巻。

何よりバンドのリーダーでヴォーカルの Mojmir Novakovic のヴォーカルは、バルカン民謡の魂を鼓舞するもので、滅茶苦茶凄い。加えて各種民族楽器とロック系のドラムスとベースの混成演奏は恐ろしく醍醐味がある。2017 作。Riverboat)

\*REINETTE L' ORANAISE

:Tresors De La Chanson Judeo-Arabe(1986 作。Melodie) C

\*ALICE FITOUSSI

:Tresors De La Chanson Judeo-Arabe(1991 作。Melodie) C

\*RENE PEREZ

:Tresors De La Chanson Judeo-Arabe(発売年不明。Melodie)C

\*RAOUL JOURNO

:Tresors De La Chanson Judeo-Arabe(発売年不明。Melodie)C

\*ALEXANDER FEDORIOUK:The Art Of The Cimbalom A  
(2003 作。Traditional Crossroads)

\*DEN FLYGANDE BOKRULLEN:Shuff! B

(スウェーデンの 6 人編成のクレズマー・バンドの 3 枚目。「クレズマーのパンク・ロッカー」と言われる彼等のクレズマーは、ホーン 3 台とサクソ&クラリネット{同じ奏者}が 1 台の 4 台の吹奏楽器が炸裂するまるでバルカン・ビート・バンドのような祝祭ムード満点なクレズマ。世界で最もハッピーなクレズマー・バンドかも。2007 作。Arko)

\*OLD SALT:Up River Overseas C

(Old Salt は米国人一名、スコットランド人一名、ベルギー人三名、スウェーデン人一名で二姫四太郎の六人組。彼らが初めて音合わせしたのは、2013 年の夏にスロヴェニアで開かれたフォーク・フェスとのこと。核になる音楽は米国人シンガーでバンジョーとフィドル担当の Dan Wall の音楽性、それはアパラチアン音楽とオールドタイム・ミュージック。Dan Wall 自身はその系統のシンガーとして、ミュージシャンとして秀でた才能の持ち主で、他国の音楽仲間の手を借りて、その系統の音楽の最前線のハイブリッドな音楽を創作していて、お見事。加えて、ヨーロッパの古風なジプシー音楽のサウンドもご披露。音楽の素材は古いが、前向きに音楽する楽しさがガンガン伝わってくる爽快盤。2016 作。Appel)

\*GIRO:Galway International Retro Orchestra C

(アイルランドのゴールウェイで結成された一姫三太郎の四人組。一姫でフィドルのまよさんは日本人で、Giro のアコーディオン奏者の Anders Trabjerg の奥様。Anders はゴールウェイで長年演奏活動をしているデンマーク人。残りの二太郎はカナダ人フルート奏者の Kyle Borley とニュージーランド人クラリネット奏者の Geoff Ward。彼らが目指す音楽は 20 世紀はじめ頃の雰囲気音楽。この目標設定は大正解。アイリッシュもジプシーもクレズマーも北欧も「20 世紀はじめ頃の雰囲気」をそれ風のレトロなサウンドで創作していて、ユニークだし、全体を通して、コミカルだったり、ホロリとさせられたり、音楽に人情味が感じられて、心はずっと笑顔。古いアイリッシュと古いジプシー音楽が調和共存する音楽を初めて聴いた。2014 作。GIRO)

- \*URBAN TUNELLS KLEZMERBAND: In Der Fintster B  
 (ルウェーの男性5人組クレズマーバンド。Klezmatiks がクレズマー音楽の伝統と精神を重んじ、創作意欲盛んなのに対し、こちらはクレズマー音楽の音楽性に限界を設けず、ジャズやロックやフォーク等を自在に盛り込み、また唄は Tom Waits のようなダミ声で演技的にうたう。型に囚われないネットワークの軽い独創性に溢れてはいるが、唄にはクレズマー音楽の心が執念深くうたい込まれている。クレズマー音楽の、ある意味進化形。面白い。2011 作。Curling Legs)
- \*EARTH WHEEL SKY BAND: Trans Romano C  
 (セルビアのロマ[ジプシー]音楽バンドの豪勢なジプシー音楽。バンドのリーダーでヴォーカルの Vince Olah はセルビアのジプシー音楽シーンで加冕的存在らしく、Vince の魂を鼓舞するヴォーカルにも圧倒されるが、まるで全ジプシー音楽の魂と多様な音楽とを一身に背負ったかのようなアツアツ=地中海〜バルカン音楽的スケールの醍醐味あるお祭り音楽は物凄い。アルバム・タイトルは“Trans Romano”が正しいが、表紙は“Trans Rromano”となっている。2009 作。ポーランド Tylkomuzyka)
- \*NOA: Classic Noa. The Israeli Songbook C  
 (Noa が過去 50 年のイスラエルの文化等からイマジネーションを得て作詞作曲した歌集。言葉はヘブライ語。オーケストラを中心にした壮大な音楽の中、Noa は舞い踊るようにうたっている。2013 作。Pinorekk)
- \*DANIEL KAHN & THE PAINTED BIRD: Lost Causes B  
 (バンド・リーダーの D. Kahn はカリスマ性があり、中々のツモリ。主に 100 年〜200 年前にユダヤ人がうたった唄を掘り起こし、ある時はメロコリックに、ある時は夢うつつに、ある時は民族意識高く朗々とまたある時は祝祭ムードたっぷりに、D. Kahn の渾身のヴォーカルを中心に多彩な色彩感覚 & 音楽感覚で魅力的なクレズマー音楽を創作する。Adrienne Cooper, Brave Old World の Michael Alpert 等がゲスト参加。本作は音楽賞を受賞。2011 作。Oriente Musik)
- \*CACI VORBA: Tajno Biav B  
 (ワールド・ミュージックシーンに突如現れたポーランドのジプシー/バルカン系グループ Caci Vorba の二作目。ブルガリア、ルーマニアそしてロシアのジプシー音楽を、その音楽の心を体内に染み込ませ、その上でワールド・ミュージック感覚の柔軟かつ幅広い音楽性を持った魅惑の音楽のもと、Maria は舞い踊るようにうたう。まるで東欧の深い不思議の森へと誘われるよう。2011 年、ワールド・ミュージックのベスト・アルバム。2011 作。Oriente Musik)
- \*HAPELUSH: Hapelush C  
 (オーストリアの男性三人組一応クレズマー・グループ。ギターとコントラバスはジャズのセンスを持ち込み、クラリネットはクレズマーの香りを立てる。スウィング・クレズマーとでも名付けた知的でいおしやれ感のあるセンス抜群のクレズマー風音楽である。酒場なんかで聴いたら、すぐに酔いそう。2009 作。Extraplatte)
- \*MAZZELTOV・ROLINHA KROSS: Amsterdam C  
 (Rolinha をヴォーカルに迎えたヴェテラン・クレズマーバンドの Mazzelton は凄い。即興性のある「あうん」の息は、ヴェテラン・ジャズ・ミュージシャンの即興演奏のようでもある。Mazzelton のクレズマー・ヴォーカルの真髓的入魂のヴォーカルはある種霊的でもあり、唄の情感・情緒は深い。2008 作。

- Frea)
- \*WUPPINGER & L'ORCHESTRA EUROPA:Le Grand Rouge C  
 (ギター奏者のFrank Wuppingerが率いる男6人組ジプシー=東欧音楽を中心に汎ヨーロッパ規模の異種交配というか異種多岐音楽グループ。楽器編成はギター2台、アコ、ヴァイオリン、ベース、パーカッション。核を成す音楽はジプシーギター音楽で、エキゾチックさやノスタルジックさを楽しむスタイル。2007作。Laika)
- \*KLEZMIC ZIRKUS:Vitamine C  
 (ベルギーの5人組クレズマーバンド。楽器編成はクラリネット、アコ、エレキギター、トロンボーン、チューバ、エレキベース、ヴァイオリン、トランペット、パーカッション、サクソ等。実験的で挑発的なクレズマー音楽を創作。ある種クレズマー音楽最前線。2007作。Home)
- \*STRICAT:Jab B  
 (オランダの異色のバルカン音楽グループ【トリオ】。楽器編成はトランペット、アコーディオン、ティンパロン。バルカン音楽なのだが、ジャズっぽいバルカン音楽というか音楽する発想が自由で、それぞれの楽器が遊ぶ感じで、どこかおどけた感じの音楽。楽器と楽器がおしゃべりし、時々笑わせたり、気まぐれにスキップしたり、真面目に遊ぶ音楽。2009作。Karnatic)
- \*KALI GERCHEN:Kaj Te Zav Kam Ist B  
 (スロヴァキアのジプシートリオにZaneta Stipakkovaという女性シンガーがゲスト参加のギター一本の伴奏の唄中心のジプシー音楽。唄のほとんどはロシアの伝統歌で、Zanetaのヴォーカルをフィーチャーし、男性ヴォーカルがハーモニーする彼らジプシー音楽は、どちらかと言えば、スペインのジプシー音楽に近い。2008作。Pavian)
- \*BALKANBEATS VOLUME 3 D  
 (ニューヨークのテン・ユダヤ・ジプシー・ジャズ・アメリカン・ルーツごちゃ混ぜでアビックに妖艶なバルカン・ビートバンドのSlavic Soul Partyを皮切りにとびっきり活きの良いのが15バンドも。刺激的。Eastblok)
- \*CHERNO MORE:Grabacion En Dreeto B  
 (Nasco Kristov【アコ】、Ivo Kristov【各種笛】のブルガリア人二人とアラブ系アフリカ人のWafir【ウード】のトリオ。ブルガリア人二人による民族色を強く打ち出したエキゾチックなバルカン音楽とWafirのウードをフィーチャーした魂の響きとでも言いたいような魂揺さぶる民族色豊かな悠久の音楽。2007作。Almoukri)
- \*63 STRINGS:63 Strings B  
 (イタリアのジプシー・ジャズのトリオにアメリカ人ハーブ奏者のPark Stickneyがゲスト参加のジプシー・ジャズ音楽。9曲中8曲がDjango Reinhardtの曲でDjangoのジャズとジプシー音楽とのフュージョンを即興的に演奏。2006作。FolkClub Ethnosuoni)
- \*CIGANYOK "A Karpat-Medenceben" C  
 ("Gypsies In The Carpathian Basin".2004作。Etnofon)
- \*BEN-CANAR:Nodudai C  
 (イスラエルとシリアの国境の町に住むユダヤ人作曲家でサズ、ウード、ギター奏者でシンガーのポーランドとロシアのポーランド【家族の故郷】やバルカンなど様々な地のユダヤ音楽やシリアの喉歌や中世音楽などにインスパイアされて作曲した曲をリエントラル・ムート漂うサウンドとシンキングで、時を超え、土



- 地を超え、夢の旅をする。2002 作。Orange World)
- \*BRAVE OLD WORLD: Bless The Fire (2003 作。Pinorrek) C
- \*THE KLEZMATICS: Jews With Horns (94 作。Pi'ra:nha) B
- \*JOKKE SCHREURS TRIO: Jokke Schreurs Trio B  
(ジブシー・スウィング・トリオ。2001 作。Wild Boar Music)
- \*THE KLEZMER CONSERVATORY BAND: A Taste Of Paradise A  
(2003 作。Rounder)
- \*JOAQUIN DIAZ: El Alma Es Dulce D  
(18 曲入 CDブック。ブックは普通と違って和紙も使われたアート感覚あふれるもの。音楽はセファルディイ{スファラディイ}。これぞ J. Diaz の唄！のそれぞれの唄の世界に思いを馳せた柔らかな唄達。w. Luis Delgado, Javier Coble, Diego Galaz, Jaime Munoz, Cuco Perez。2001 作。tf.media)
- \*KROKE: The Sounds Of The Vanishing World B  
(99 作。Oriente Musik)
- \*PJOTR LESCHENKO: 1931 A  
(副題“Gipsy Songs&Other Passions”。97 作。Oriente Musik)

#### [LP/JEWISH, GYPSY他]

- \*ANGEL CARRIL: Kerensya Sefaradim ¥1980  
(LP です。倉庫で発見。副題“Musical Tradition of Spanish Jews”。90 作。スピンSaga)

#### [CD/ISRAEL]

- \*LA FLUTE D' ISRAEL “Reviyat A Markidim” ¥1500  
(英題“Flute Of Israel”。Buda Musique)

#### [CD/KURDISTAN]

- \*NIZAMETTIN ARIC: Azadi A  
(30 年もの間、国外で流浪生活を送る大物クルド人伝統音楽歌手の Nizamettin の本作は平和、平等、祖国愛を詩に詠んで来た二人のクルド人詩人の詩に Nizamettin が曲を付けてうたったもの。音楽はアラブ音楽的情感が沸き立ち、Nizamettin の唄はどっしりとして、ゴブシをゆっくりと回す。その確固たる歌唱の素晴らしさは肩を並べる民衆音楽歌手を見つけるのが困難なほど。魂の唄。2011 作。Kalan)

#### [CD/LEBANON]

- \*FARID ELATRACHE: Farid Eltrache A  
(90 作。Voice Of Lebanon)
- \*FARID ELATRACHE: The Best Of Farid El Atrache A  
(ライヴ。90 作。Voice Of Lebanon)

#### [CD/ALGERIA]

- \*CHEIKH RAYMOND: Anthologie 1937-1961 D  
(アラブ人に愛されたユダヤ人音楽家で、アラブ・アンダルシア音楽の巨匠シェイク・レモン{1912 年生まれ}の 3 枚組ボックスセット。シェイクが、エンリコ・マリアスの父シル

がアン・グレツァと設立したレコード会社 Raysylophone の貴重音源からの全 20 曲。ディスク 1 が 1937~1954 年、ディスク 2 が 1958~1959 年、ディスク 3 が 1957~1961 年の録音。シエウはウートの技で、20 歳の若さで、「マスター」と称されたという。初 CD 化。ウートの弾き語りを中心にした素朴なアラブ・アンダルシア音楽はルーツ的味わいに満ちている。P50 の解説書付。2011 作。Universal)

- \*WARDA: A L'Olympia Vol. 2 A  
(フランス生まれのアルジェリア人歌手 Warda の歴史的録音盤。92 作。Club Du Disque Arabe)

### [CD/MALI]

- \*MIGHTY MO RODGERS & BABA SISSOKO: Griot Blues B  
(ブルースの大御所の Mighty Mo Rodgers と西アフリカ音楽の大御所の Baba Sissoko の両巨頭によるコラボは巨頭同士ならではのジャンルを超えた魂の音楽。2017 作。One Griot Music)
- \*ARNALDO ANTUNES・EDGARD SCANDURRA・TOUMANI DIABATE  
: A Curva Da Cintura C  
(コラ奏者の T. Diabate とブラジルのシンガーの A. Antunes とブラジルのギター奏者の E. Scadura とによるマリとブラジル音楽の折衷音楽。ブラジル人お二人さんの音楽に即興的に割り込む Toumani の演奏が素晴らしい。ゲスト: Sidiki Diabate {コラ}, Safiatou Diabate {ヴォーカル}。2012 作。Mais Um Discos)
- \*JAYME STONE & MANSA SISSOKO: Africa To Appalachia B  
(マリのグリオでコラ奏者の Mansa とバンジョー奏者の Jayme のコラボ。全 13 曲。2008 作。Jayme Stone)

### [CD/SENEGAL]

- \*CATRIN FINCH & SECKOU KEITA: Soar B  
(英国の音楽雑誌 fROOTS 誌の 2013 年のベストアルバム一位に輝いた "Clychau Dibon" から 5 年。ウエールズのハープの大御所 Elinor Bennett に師事し、ご主人が Elinor の息子というハープ奏者の Catrin Finch と母方がグリオの家系という西アフリカのセネガルのコラ奏者の Seckou Keita の待望の新作。本作は西アフリカ海岸からウエールズの河口への移住と旅をテーマにしたアルバムで、ウエールズのハープの優雅さと西アフリカのコーラのきらびやかさが美しく混ざり合っていて、ウエールズ的でも、西アフリカ的でもあって、かつまた新種の美しい音楽を見事に創作していて、息をのむ。お互いがお互いの音楽の特長と魅力を知った上で、響き合った極上の豎琴音楽であり、ある種芸術品だ。2018 作。Bendigedig)
- \*LAYE SOW: Djamano A  
(北セネガルの Fula のシンガーでギター奏者で唄のほとんどは Fula 語。唄の響きはグリオに近いし、Laye のギターもコーラの響き。そこに Richard Caswell なるギター奏者がスライド・ギターでブルースの香りを注ぐ。兄弟の音楽のように流れのままにナチュラルに響演してるのが気持ちいい。2004 作。ホーランド Orange World)

### [CD/GUINEA]

- \*DJELI MOUSSA CONDE:Womama B  
(滞仏 20 年のギニア人グリオでコラ奏者でシガーの Djeli Moussa Condé の新作で通算二枚目。本作は礼ソ・マンデラ{1918 年 - 2013 年}に捧げた“Mandela”など広く「アフリカ」に捧げたアルバム。白人演奏家達との共演による本作は、アフリカ音楽からラテン音楽までの幅で音楽の幅が広く、コラ奏者として西アフリカのグリオの音楽をどのグリオの音楽よりもカワルでトビカでジャンプ力のあるワールド・ミュージックに仕上がっている。2015 作。Buda Musique)
- \*MORY KANTE: Sabou B  
(西アフリカのコラの第一人者。本作は全面アコースティックの伝統的グリオの伝統音楽に帰ったもので、コラとハラフン(要にしたカワルなリズム)と Mory と女性シガーとのユーモラスな掛け歌はすこぶる快感。ヴォーカルを含め様々なサウンドが踊るように響き合う。素晴らしい! 2004 作。Riverboat)

### [CD/CAMEROUN]

- \*SALLY NYOLO: Tribu ¥1780  
(World Music 的に音楽的にレベルの高い Sally の民俗的かつ呪術的唄とコラ&レスポンスそしてホップで民俗色濃厚な音楽。Coeurdelion)

### [CD/MOZAMBIQUE]

- \*MUSIC FROM MOZAMBIQUE (スウェーデン Caprice。2001 作) B  
\*WAZIMBO&ORCHESTRA: Nwahuwana B  
(CD-ROM 機能付 CD。カワルな大衆音楽だ。ポルトガル音楽の上にブラジル音楽、カリブ音楽、スークそれにロックまで食欲に呑み込み、エネルギッシュでダンサブルな大衆音楽を生み出している。ダンサーが 4 人も付いてりやー、音楽も飛び跳ねるなあ。CD-ROM はタイトル曲のライブ・ビデオ。2001 作。トイ Pira: nha)

### [CD/MADAGASCAR]

- \*WORLD BEAT VOL. 7 “Madagascar” ¥1680  
(16 曲入編集 CD。フランス Celluloid)
- \*MADAGASCAR ¥1680  
(副題 “Music of Madagascar — Rossy, Tselonina, Mahaleo, Matrimbala, Justin Vali & Lolo Sy Ny Tariny”。93 作。トイ World Network)

### [CD/VENEZUELA]

- \*SON DE CHUAO: Sabor A Cacao B  
(副題 “Afro-Caribbean Percussion Music and Dance from Venezuela’s Cocoa Coast”。2000 作。Pan)
- \*OSCAR D’ LEON: Live ¥2940  
(カリブ・ラテン・アメリカの最大のスター、Oscar D’ Leon の阿姆斯特ダムでのライブ。キューバの名曲を中心に全 10 曲。ホンバ)

### [CD/BRAZIL]

- \*MARIA BETHANIA:Encanteria B  
(「魅惑」の意のブラジルを代表する歌姫マリア・ベターニアの本作はオリジナル盤は2007年作のよう。守備範囲外の南米音楽だが、Mariaの優しく包容力あるヴォーカルといい、ラテン・ムードたっぷりな上質の大人の音楽といい、ブラジル大衆音楽として格別極上の味わい。スペインDiscmedi)

### [CD/USA, MEXICO, CANADA, FRANCE, SPAIN]

- \*LHASA:Living Road A  
(fRootsベストアルバム2005の2位。父親がメキシコ人で母親がアメリカ人で現在カナダのケベックに住み、英語、フランス語、スペイン語で唄うという魅惑の不思議女性SSW。Lhasaはスペイン、メキシコ、ラテン、ジャズ等の文化的音の香りを香らせながら、例えばLeonard Cohenのような語り口でドラマティックに唄う。2004作。Sodec)

### [CD/CHINA]

- \*プリシラ・チャン:ラスト・ライヴ ¥2625  
(以前販売した2枚組CDを棚で発見。香港で人気ナンバーワンの歌姫プリシラ・チャンの引退記念ライブ。89作。ドラゴンレコード)

### [CD/OKINAWA]

- \*沖縄舞踊特集 第一集 ¥2000  
(台風で屋根が飛んだときの被害盤。ジャケット裏面に水に濡れた痕跡以外は新品同様。1989作。マルフク)
- \*りんけんバンド:アジマァ ¥2000  
(1992作。保存期間が長いので、検盤してお送りします。ソニー・ミュージック)
- \*SHOUKICHI KINA AND CHAMPLOOSE  
:Music Power From Okinawa(1997年/1991作。GlobeStyle) C

### [CD/VARIOUS COUNTRIES]

- \*LIVE AT THE CEDAR "Visionaries" ¥1500  
(年に150-200回のライブを行なっているというアメリカはミネソタのライブハウスでのライブ集。世界各地からの出演者でそれぞれが個性的。収録順にBaaba Maal, Mari Boine, Cesaria Evora, Gillian Welch, Doc Watson, Dave Van Ronk, La Bottine Souriante, Liam O'Flynn & Arty McGlynn, Martin Sexton, Loudon Wainwright III, Koerner-Ray & Glover, Greg Brown, Ani DiFranco, Ali Farka Toure, Bill Frisell。2007作。Cedar Cultural Center)